

は し が き

この年報は、令和元年における釧路北部消防事務組合（弟子屈町・標茶町・鶴居村）の消防実績と現勢、更に諸般の事項を集録し、今後の消防体制強化と火災予防上の参考に資するとともに、有効に活用するため編集したものです。

この年報を通じて地域住民の防火に対する指針、消防行政執務の参考となれば幸甚です。

諸統計中、特記するものを除き、平成31年1月1日から令和元年12月31日までの記録及び12月31日現在で集録したものです。

令和2年3月

釧路北部消防事務組合消防本部

目 次

鉏路北部消防事務組合の現況と沿革	1
1. 弟子屈町・標茶町・鶴居村の位置	1
2. 鉏路北部消防事務組合の概要	1
3. 地勢及び気候風土	1
(1) 地域の範囲及び面積	1
(2) 自然条件（気象、地形、土質、水利）	2
4. 交通・通信・運輸状況	2
鉏路北部消防事務組合組織機構図	3
鉏路北部消防事務組合管内図	5～6
消防のあゆみ	7～19
総 務 編	
平成 30 年度決算額及び平成 31 年度当初予算額	23
平成 31(令和元)年度普通建設事業費調、平成 30 年度普通建設事業費調(決算)	24
人口・世帯数及び面積、消防本部・消防署人員配置状況	25
職員勤続状況、職員年令別状況、職員教育状況	26
消防団員人員配置状況、消防団員勤続年数別状況	27
消防団員階級別職業別状況	28
消防職・団員及び消防自動車単位当たり数	29
予 防 編	
一般家庭査察件数、防火対象物査察指導件数	33
防火対象物数	34
建築許可等同意月別取扱件数	35
各種申請及び届出等の取扱件数	36
危険物製造所等別貯蔵・取扱数量、地区別危険物製造所等設置状況	37
火災予防のための広報活動及び応急手当の普及啓発活動	38

施 設 編

消防庁舎の現況	41
消防機械現有数	42～43
消防水利保有数、消防用ホース現有数	44
消防用機器及び資材保有状況	45

火 災 統 計

火災概況、火災件数	49
平成 31(令和元)年中火災発生状況	50
消防署別火災発生状況、過去 10 ヶ年月別火災発生件数	51
平成 31(令和元)年月別火災統計、過去 3 ヶ年火災原因別発生件数、時間別発生状況	52

救 急 統 計

救急概況、救急業務統計	55
消防署別救急業務取扱状況	56～59



川湯硫黄山(弟子屈町)



摩周湖(弟子屈町)



多和平展望台(標茶町)



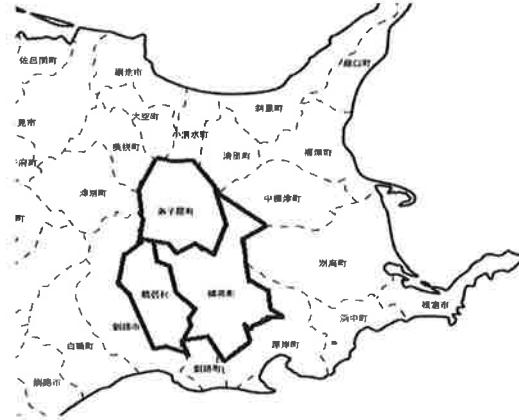
丹頂鶴(鶴居村)

釧路北部消防事務組合の現況と沿革

1 弟子屈町・標茶町・鶴居村の位置

釧路北部消防事務組合は、北海道釧路総合振興局所在地より北へ約20～70kmの地点に位置している。

区分	東経	北緯
弟子屈町	144° 36′	43° 42′
標茶町	144° 29′	43° 19′
鶴居村	144° 19′	43° 13′



2 釧路北部消防事務組合の概要

当組合は広域消防行政推進の趣旨に則り、昭和48年4月1日をもって、川上郡弟子屈町、標茶町の2町を構成町とし、釧路総合振興局管内の北部に位置することから「釧路北部消防事務組合」と称し、一部事務組合として発足した。平成17年10月には、釧路西部消防組合の解散に伴い、その中の鶴居村が釧路北部消防事務組合に編入し、現在2町1村での組合構成となっている。

当組合の主産業は酪農と観光を主流とし、阿寒国立公園内の屈斜路湖を水源とする釧路川を中心に、その水系の兩岸に広がる丘陵台地に広く点在する酪農家と、摩周火山系による摩周温泉、川湯温泉を中心とした観光が経済活動の主軸となっており、これらを取りかこむようにして広大な国有林を有し、かつては林業の町として栄えたこともあったが現在では森林資源休養の時代となり、将来に期待されている。消防が管轄する総面積は2,445.67km²と広大で、酪農家の一戸当たり保有面積はおよそ70haで約430戸の酪農家が点在する。これらの酪農家の経済活動となる集落と温泉観光地の高層建築物のホテル街、役場を中心とした商店街からなり、それぞれに消防署、支署、消防団、分団(部)の配置が必要なため、消防力の分散による消防財政への影響が極めて大きい。

3 地勢及び気候風土

(1) 地域の範囲及び面積

釧路北部消防の総面積は2,445.67km²(弟子屈町774.50km²、標茶町1,099.37km²、鶴居村571.80km²)で、東西55km、南北92kmの千島系火山脈と平野に囲まれた地域であり、北東はオホーツク総合振興局管内、根室振興局管内に、南西は釧路市阿寒町

に接し、釧路、根室、オホーツク、十勝のちょうど内陸の中心地帯である。

更に、弟子屈町は阿寒国立公園の60%の面積を、標茶町・鶴居村合せて釧路湿原の75%の面積を占める位置にあり、自然景観に恵まれている。

(2) 自然条件

気 象

気候は一般的に冷涼で積算温度は極めて低く、降雪期の始まりは11月下旬で降雪量は50～80 cmと比較的少なく、土面の凍結度は著しい。又、平均の初霜は10月上旬、晩霜が5月下旬で年により変動はあるが霜害を被ることが多い。加えて濃霧の発生が多く日照時間が少ない地域である。

地 形

弟子屈町の大部分は千島火山系に属する高原地帯で、一般に峻嶺の余波を受け起伏が多く、活火山を有し507.09 km²の森林に囲まれている。

標茶町は山岳部が少なく、釧路川流域の平野と丘陵台地が大半を占めている。

鶴居村は阿寒カルデラ外輪山を貫流する雪裡、幌呂、久著呂の各川の流域に沿って広がる原野で構成されている。

組合内の起伏については最低が釧路湿原地帯の海拔3.6m、最高が阿寒山麓の原始林帯で海拔812mとなっている。

土 質

弟子屈町の中心部に至る屈斜路湖及び釧路川周辺に一部沖積層が分布し、小河川に沿って湿地、泥炭層が点在するほか大部分は摩周系火山灰土で地味乏しく、酸性土壌で地力の消耗が著しい。反面、標茶町と鶴居村の多くの丘陵間に熊牛、御卒別、久著呂、雪裡、幌呂、茶安別、阿歴内等の原野を有し、地質は第3紀層に属し、概ね肥沃である。

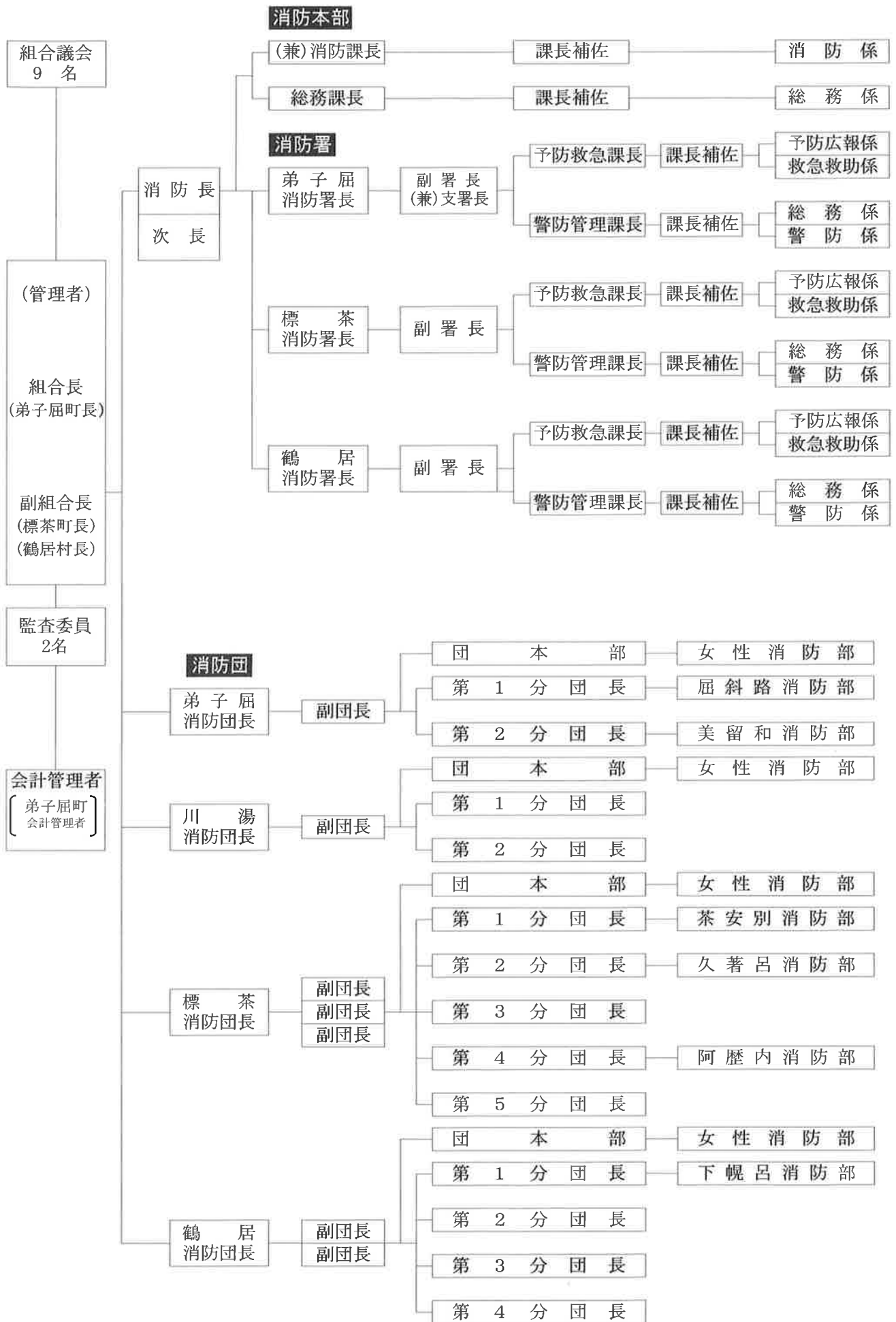
水 利

屈斜路湖を源流とする釧路川は、兩岸の丘陵地から流れ出す小河川と合流して地域の中央部を縦貫し、釧路湿原を経て太平洋に注いでいる。又、北東部の西別川は摩周湖の浸出水を源として虹別原野、根室振興局管内別海町を経てオホーツク海に注いでいる。

4 交通・通信・運輸状況

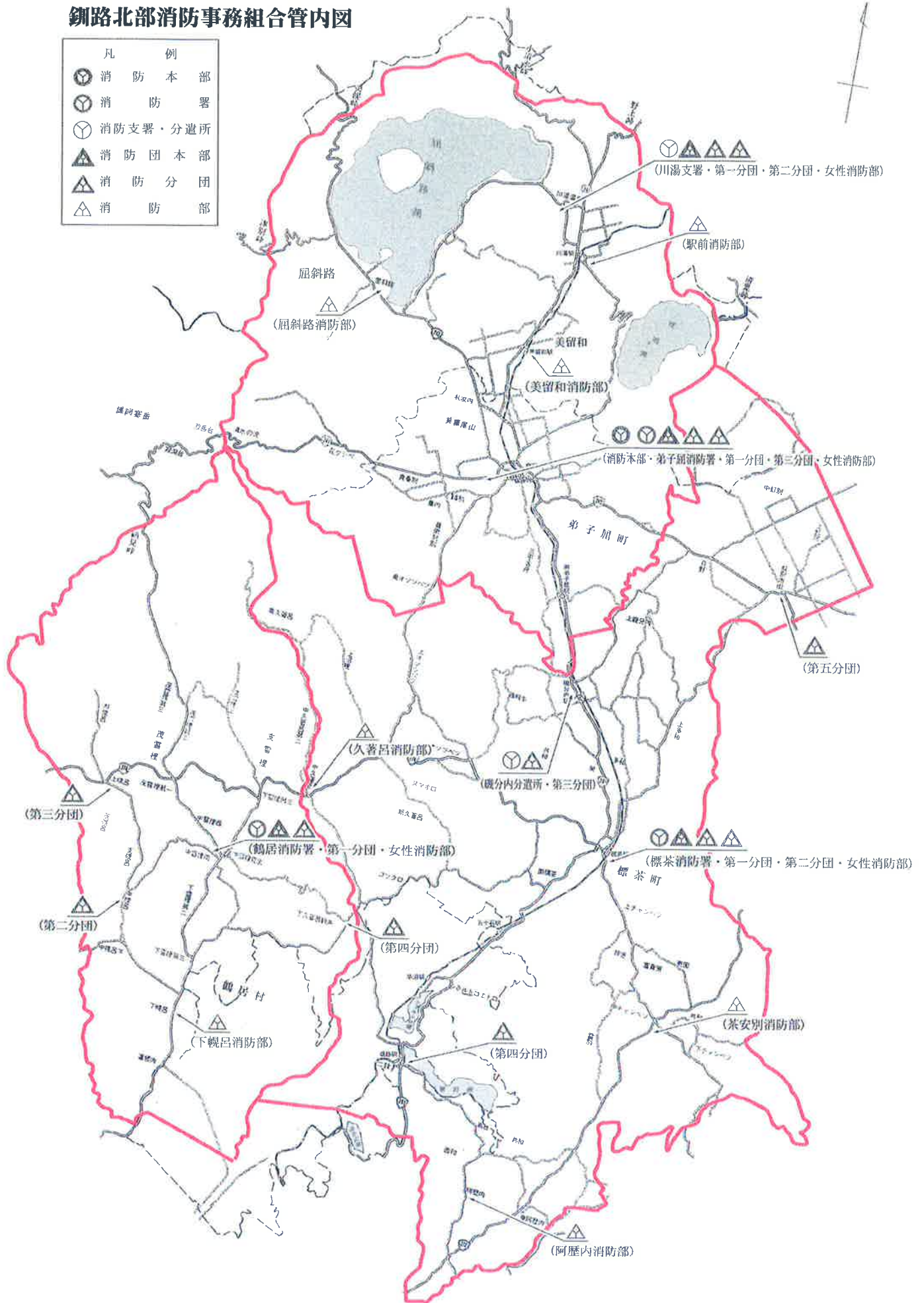
地域の中央部を釧路川に沿ってJR北海道釧網線が南北に走り、弟子屈町を中心に国道、道道がそれぞれ釧路、網走、北見、根室、帯広の各都市に結ばれ、冬期間の一部を除き定期バス、観光バスが運行している。更には各地区に町村道、農道が発達し、酪農製品である生乳の運搬路として交通の便は良好である。又、通信施設は、一般加入電話に加え、IT関連の通信や携帯電話各社等、広く普及されている。

釧路北部消防事務組合組織機構図



鉦路北部消防事務組合管内図

- 凡 例
- ⊙ 消防本部
 - ⊖ 消防署
 - ⊕ 消防支署・分遣所
 - △ 消防団本部
 - △ 消防分団
 - △ 消防部





標茶消防庁舎



川湯消防庁舎



弟子屈消防庁舎



鶴居消防庁舎

消 防 の あ ゆ み

1 釧路北部消防事務組合

昭和46年	1月 2日	消防一部事務組合設立準備のため弟子屈、川湯、標茶各消防団に趣旨説明	
47年	4月24日	組合設立のため消防事務協議会開催	
	6月 2日	組合設立のため三消防団幹部協議会開催	
	6月19日	組合構成理事者及び町議会議員合同打合せ会議開催	
	6月22日	町議会に広域消防化を提案	
	7月27日	組合構成弟子屈、標茶両町議会議員による協議会開催	
48年	3月 8日	釧路北部消防事務組合規約等協議	
	3月12日	弟子屈、標茶両町議会で一部事務組合設置が議決される	
	3月29日	一部事務組合の許可申請手続	
48年	4月 1日	地方自治法第284条第1項の規定により「釧路北部消防事務組合」設立許可 釧路北部消防事務組合消防本部を川上郡弟子屈町字弟子屈190番地に設置 消防団を組合消防団に改める 組合消防署を新設、弟子屈、川湯、標茶に支署を置く 組合長に堀田正次郎氏(弟子屈町長)就任 組合助役に藤野照高氏(弟子屈町助役)就任 組合収入役に斉藤修氏(弟子屈町収入役)就任	
	4月 6日	組合議長に門屋盛吾氏(標茶町長)を選出	
	5月10日	初代消防長兼消防署長に守護泰国氏就任	
	8月10日	北海道消防操法大会に川湯消防団が出席し優勝	
	10月 1日	根室北部消防事務組合と相互応援協定締結	
	11月	28日	標茶支署に水槽付消防ポンプ自動車を購入し配置する 標茶町虹別に分団詰所新築及び小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
		28日	川湯支署に屈折梯子付消防ポンプ自動車(20m級)を購入し配置する
	49年	8月10日	消防無線電話機設置(基地局、弟子屈、川湯、標茶各支署)
		8月14日	標茶町中久著呂に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
	50年	10月28日	日本消防協会より優良消防団として表彰旗を授与される(川湯消防団)
		2月	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、弟子屈支署に配置する
	3月27日	救急自動車(国岡号)川湯支署へ配置替え	
	3月31日	標茶消防団第10代目団長三本仙一郎氏勇退	
	4月 1日	標茶消防団第11代目団長に森山広太郎氏就任 釧路西部消防組合と相互応援協定締結 消防団組織規則の改正により弟子屈消防団を二分団制とし、第一分団屈斜路班を設置する 川湯消防団を二分団制とする 標茶消防団を五分団制とする	
	5月 1日	組合長に横山徳住氏(弟子屈町長)就任	
	5月26日	組合議長に門屋盛吾氏(標茶町長)を選出	
	5月30日	組合助役に吉田千代司氏(弟子屈町助役)就任	
	9月 1日	標茶消防団第四分団阿歴内班を設置する	
	9月23日	弟子屈町屈斜路に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する	
	10月15日	標茶支署に林野火災工作車を購入し配置する	
	51年	7月22日	斜里地区消防組合と相互応援協定締結
		9月25日	釧路管内消防団員技能競技大会を川湯で開催し川湯消防団優勝(小型ポンプの部)
10月17日		標茶町中茶安別に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する	
52年	12月 8日	釧路北部防火管理協議会設立	
	1月31日	標茶消防団長森山広太郎氏死去	
	3月 1日	標茶消防団第12代目団長に千葉義一氏就任	

	3月 1日	弟子屈消防団第二分団美留和班を設置する
	7月 8日	標茶町中茶安別に班詰所を新築
	7月 21日	北海道消防操法大会に標茶消防団が出場
	10月 11日	標茶町塘路に消防ポンプ自動車を購入し配置する
	10月 22日	弟子屈町川湯駅前に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
	11月 23日	弟子屈町屈斜路に班詰所を新築
	12月 25日	組合収入役に佐々木進氏(弟子屈町収入役)就任
53年	2月 1日	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、標茶支署に配置(更新)する
	3月 15日	釧路北部地区危険物安全協会設立
	8月 31日	弟子屈町美留和に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置する
	9月 14日	釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)に標茶消防団第三分団優勝(消防自動車ポンプの部)
	9月 26日	高橋拓蔵氏からマイクロバスの寄贈を受け、「拓伸号」と命名し弟子屈支署に配置する
	10月 25日	標茶町磯分内に小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を購入し配置する
	11月 20日	弟子屈町川湯駅前に班詰所を新築
	11月 25日	標茶町阿歴内に班詰所を新築
54年	2月 28日	標茶消防団第12代目団長千葉義一氏勇退
	3月 1日	標茶消防団第13代目団長に高橋昭寿氏就任
	5月 1日	組合長に横山徳住氏(弟子屈町長)就任 副組合長に阿部悟郎氏就任(標茶町長)就任
	5月 31日	組合議長に野崎好文氏(標茶町議会議員)を選出
	6月 1日	弟子屈支署、標茶支署が消防署に昇格し弟子屈消防署長に笹川三勇士氏、標茶消防署長に河合養七氏発令
	8月 23日	弟子屈消防署川湯支署に消防ポンプ自動車を購入し配置する
	9月 12日	標茶消防署に水槽付消防ポンプ自動車を購入し配置する
	9月 13日	組合収入役に佐々木進氏(弟子屈町収入役)就任
	9月 14日	釧路管内消防団員技能競技大会を標茶町で開催
	10月 20日	弟子屈町美留和に班詰所を新築
55年	4月 1日	美幌津別消防事務組合と相互応援協定締結
	6月 1日	釧路東部消防組合と相互応援協定締結
	8月 1日	釧路北部少年婦人防火委員会設立 弟子屈婦人防火クラブ設立 標茶婦人防火クラブ設立 標茶少年消防クラブ設立 磯分内少年消防クラブ設立
	8月 22日	北海道消防操法大会に弟子屈消防団が出場し準優勝
	9月 10日	標茶消防署に消防ポンプ自動車を購入し配置する
	10月 30日	弟子屈消防署に小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し配置する
	12月 13日	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、川湯支署に配置(更新)する
56年	3月 31日	釧路北部消防事務組合消防本部及び弟子屈消防署庁舎新築移転(川上郡弟子屈町字鑑別原野42線西20番69)
	4月 16日	標茶消防署長に越善諤氏発令
	4月 20日	消防本部に広報車を購入し配置(更新)する
	9月 19日	釧路管内消防団員技能競技大会を弟子屈で開催し川湯消防団優勝(小型ポンプの部、消防自動車ポンプの部)
57年	2月 1日	釧路市消防本部と相互応援協定締結
	5月 13日	釧路北部防火管理協議会解散
	6月 1日	弟子屈防火管理協議会設立 川湯防火管理協議会設立 標茶防火管理協議会設立
	10月 8日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、「火災保険号」と命名し弟子屈消防署に配置する

	10月13日	全国消防長会技術委員会を弟子屈町で開催
	10月27日	標茶消防署に小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し配置する
58年	3月10日	弟子屈消防団長古屋利八氏死去
	3月30日	納谷幸治氏から広報車の寄贈を受け、「納谷号」と命名し弟子屈消防署川湯支署に配置する
	4月1日	弟子屈消防団第7代目団長に佐藤繁一氏就任
	4月21日	標茶消防署に広報車を購入し配置する
	5月1日	組合長に横山徳住氏(弟子屈町長)就任 副組合長に阿部悟郎氏(標茶町長)就任
	6月2日	組合議長に鈴木兼好氏(標茶町議会議員)を選出
	7月1日	標茶消防署長に西村泉氏発令
	9月13日	組合収入役に佐々木進氏(弟子屈町収入役)就任
	11月14日	弟子屈消防署川湯支署に水槽付消防ポンプ自動車(3,000ℓ)を購入し配置する
59年	3月8日	日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、弟子屈消防署に配置(更新)する
	7月27日	北海道消防操法大会に川湯消防団が出場
	8月24日	全国消防救助技術大会(名古屋市)に弟子屈消防署員が出場(梯子登はん)
	10月30日	弟子屈消防署に広報車を購入し配置(更新)する
60年	2月28日	川湯消防団第3代目団長根津文男氏勇退
	3月1日	川湯消防団第4代目団長に鈴木義光氏就任
	4月1日	標茶消防署長に関澤幸一氏発令 立正館幼稚園幼年消防クラブ設立・立正館婦人防火クラブ設立 川湯少年消防クラブ設立
	8月26日	組合議長に江幡義夫氏(弟子屈町議会議員)を選出
	9月16日	釧路管内消防団員技能競技大会(厚岸町)に川湯消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
61年	1月21日	弟子屈消防署長に澤頭昇氏発令
	6月20日	第38回北海道消防大会開催(弟子屈町)
	7月8日	標茶消防署庁舎新築移転(川上郡標茶町字標茶104番50)
	8月22日	全国消防救助技術大会(神戸市)に標茶消防署員が出場(梯子登はん)
	9月10日	財団法人日本消防協会から広報車の寄贈を受け弟子屈消防署に配置する
	9月19日	五月女克氏、榎本綾子氏、山口芳雄氏、川湯消防後援会からマイクロバスの寄贈を受け、弟子屈消防署川湯支署に配置する
	9月20日	釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)で川湯消防団優勝(小型ポンプの部)
62年	1月30日	標茶消防署に救急自動車を購入し配置(更新)する
	4月3日	消防長に坪井長治氏発令
	5月1日	組合長に横山徳住氏(弟子屈町長)就任 副組合長に阿部悟郎氏(標茶町長)就任
	5月26日	組合議長に江上義信氏(弟子屈町議会議員)を選出
	9月12日	釧路管内消防団員技能競技大会(鶴居村)に標茶消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
	9月13日	組合収入役に佐々木進氏(弟子屈町収入役)就任
	11月24日	弟子屈消防署に水槽付消防ポンプ自動車(3,000ℓ)を購入し配置する
	11月25日	標茶消防署に水槽付消防ポンプ自動車(7,000ℓ)を購入し配置する
63年	7月29日	北海道消防操法大会に標茶消防団が出場し優勝(ポンプ車操法)
	9月10日	釧路管内消防団員技能競技大会を川湯で開催し川湯消防団優勝(小型ポンプの部)
	11月4日	弟子屈消防署にマイクロバスを購入し配置(更新)する
平成元年	2月17日	消防長に伊藤聖治氏発令
	3月31日	標茶消防署に広報車を購入し配置する
	5月28日	弟子屈消防団が消防施設充実のため消防植林(約10ha)する
	9月9日	釧路管内消防団員技能競技大会(浜中町)で川湯消防団優勝(小型ポンプの部)
2年	4月1日	標茶消防署長に鈴木健一氏発令
	9月14日	釧路管内消防団員技能競技大会を標茶で開催し弟子屈消防団優勝(小型ポンプの部)

	12月11日	弟子屈消防署川湯支署(弟子屈町役場川湯支所)新築(川上郡弟子屈町宇川湯国有林弟子屈事業区旧218林班八小班)
3年	4月1日	北海道広域消防相互応援協定締結
	4月12日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(2,000ℓ)の寄贈を受け、「摩周号」と命名し弟子屈消防署に配置する
	4月15日	消防本部に指令車を購入し配置(更新)する
	5月1日	組合長に吉田千代司氏(弟子屈町長)就任 副組合長に千葉健氏(標茶町長)就任
	5月27日	組合議長に鴨志田友則氏(弟子屈町議会議員)を選出
	8月6日	日本赤十字社北海道支部釧路支部弟子屈町分区から救急自動車の貸与を受け、弟子屈消防署川湯支署に配置(更新)する
4年	1月29日	組合収入役に岡田勉氏(弟子屈町収入役)就任
	7月31日	北海道消防操法大会に弟子屈消防団が出場し優勝(小型ポンプの部)
	9月1日	標茶消防団に女性消防班を設置する
	10月14日	全国消防操法大会に北海道代表として弟子屈消防団が出場し優良賞(小型ポンプの部)
	10月16日	標茶の消防創設100年記念式典を挙げる(標茶消防署・標茶消防団)
	11月24日	釧路北部消防事務組合消防本部及び弟子屈消防署庁舎の住所の名称変更(川上郡弟子屈町美里2丁目1番1号)
5年	3月2日	標茶町磯分内に水槽付消防ポンプ自動車(1,500ℓ)を購入し配置(更新)する 標茶町中久著呂に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置(更新)する
	4月1日	消防長に安倍良博氏発令 標茶消防署長に川村毅氏発令
	9月11日	釧路管内消防団員技能競技大会(釧路町)に弟子屈消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
	10月14日	釧路北部消防事務組合創立20周年記念式典を挙げる(釧路圏摩周観光文化センター)
6年	2月7日	標茶消防署に救助工作車を購入し配置する 標茶町虹別に小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を購入し配置する
	9月10日	釧路管内消防団員技能競技大会を弟子屈町で開催し弟子屈消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
7年	3月14日	標茶町中茶安別に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置(更新)する
	3月31日	川湯消防団第4代目団長鈴木義光氏勇退
	4月1日	川湯消防団第5代目団長に見澤憲政氏就任
	5月1日	組合長に岡田勉氏(弟子屈町長)就任 副組合長に千葉健氏(標茶町長)就任
	5月17日	組合議長に松岡悟氏(弟子屈町議会議員)を選出
	5月30日	組合収入役に西郷満氏(弟子屈町収入役)就任
	6月14日	弟子屈ロータリークラブから広報車の寄贈を受け、「国際ロータリー弟子屈号」と命名し弟子屈消防署に配置する
	9月30日	弟子屈消防団第7代目団長佐藤繁一氏勇退
10年	10月1日	弟子屈消防団第8代目団長に林隆雄氏就任 各消防班を消防部に改める
	11月10日	標茶消防署庁舎の住所の名称変更(川上郡標茶町旭4丁目6番2号)
	11月16日	弟子屈消防署に高規格救急自動車を購入し配置(更新)する
	12月22日	弟子屈消防署川湯支署に小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し配置する
8年	2月14日	標茶町阿歴内に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置(更新)する
	3月18日	弟子屈消防署に水槽付消防ポンプ自動車(6,000ℓ)を購入し配置する
	4月1日	消防長に大下精氏発令
	9月14日	釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)に標茶消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
9年	3月3日	標茶消防署に高規格救急自動車を購入し配置する
	4月1日	川湯消防団に女性消防部を設置する

	7月 1日	弟子屈消防団にラッパ隊を編成する
	8月 7日	弟子屈消防署に広報車を購入し配置する
	8月21日	財団法人日本消防協会から軽積載車の寄贈を受け標茶消防署に配置する
	9月13日	釧路管内消防団員技能競技大会(厚岸町)に標茶消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
10年	1月10日	標茶消防署に消防ポンプ自動車を購入し配置する
	5月31日	川湯消防団第5代目団長見澤憲政氏勇退
	6月 1日	川湯消防団第6代目団長に松田勝吉氏就任
	7月30日	北海道消防操法大会に標茶消防団が出場し準優勝(ポンプ車操法の部)
	9月 7日	弟子屈消防署川湯支署に広報車を購入し配置(更新)する
	9月19日	釧路管内消防団員技能競技大会を川湯で開催
11年	5月 1日	組合長に岡田勉氏(弟子屈町長)就任 副組合長に千葉健氏(標茶町長)就任
	5月17日	組合議長に徳永行雄氏(弟子屈町議会議員)を選出
	7月 6日	北海道共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、「JA共済」と命名し標茶消防署に配置する
	9月18日	釧路管内消防団員技能競技大会(音別町)に川湯消防団優勝(小型ポンプの部)及び弟子屈消防団優勝(消防自動車ポンプの部)
12年	4月 1日	消防長に澤頭昇氏発令 弟子屈消防署長に中山十二男氏発令
	9月 9日	釧路管内消防団員技能競技大会(浜中町)で弟子屈消防団優勝(小型ポンプの部)
	10月28日	組合議長に八幡豊行氏(弟子屈町議会議員)を選出
	11月17日	組合長職務代理者に副組合長千葉健氏(標茶町長)就任
	12月25日	組合長に徳永哲雄氏(弟子屈町長)就任
	12月27日	弟子屈消防署川湯支署に水槽付消防ポンプ自動車(3,000ℓ)を購入し配置(更新)する
13年	2月 1日	組合収入役に寺岡清敏氏(弟子屈町収入役)就任
	4月 1日	消防長に館定勝氏発令 弟子屈消防署長に船坂計明氏発令 標茶消防署長に北村久男氏発令 弟子屈消防団に女性消防部を設置する
	11月22日	弟子屈町美留和に小型動力ポンプ付積載車を購入し配置(更新)する
14年	2月 8日	弟子屈消防団に財団法人日本消防協会から特別表彰「まとい」受賞する
	2月20日	標茶町磯分内に小型動力ポンプ付水槽車(5,000ℓ)を購入し配置する
	2月27日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け「損害保険号」と命名し弟子屈消防署に配置する
	3月31日	標茶消防団第13代目団長高橋昭寿氏勇退
	4月 1日	標茶消防団第14代目団長に幸坂邦夫氏就任
	9月 7日	釧路管内消防団員技能競技大会を標茶町で開催
15年	4月 1日	消防署(支署)の機構改革(2課7係を2課4係に改変) 副組合長に今西猛氏(標茶町長)就任 組合創設30周年記念式を挙(標茶町コンベンションホールういず) 標茶駅前大火50周年記念組合総合演習実施(標茶町) 北海道消防操法訓練大会ポンプ自動車の部に川湯消防団出場(江別市) 弟子屈消防署川湯支署に高規格救急自動車を購入し配備
16年	4月 1日	消防長に中山十二男氏発令
	7月 1日	弟子屈消防署長に古屋勝氏発令
	9月11日	第49回釧路管内消防団員技能競技大会(白糠町)で、弟子屈消防団が自動車ポンプの部で準優勝
	11月24日	組合議長に村上政市氏(弟子屈町議会議員)を選出
17年	2月 1日	組合収入役に吉備津民夫氏(弟子屈町助役)就任
	3月 1日	川湯消防団第6代目団長松田勝吉氏勇退
	4月 1日	川湯消防団第7代目団長に濱岡正次氏就任

	9月10日	第50回釧路管内消防団員技能競技大会を弟子屈町で開催し、弟子屈消防団が自動車ポンプの部で優勝、川湯消防団が小型ポンプの部で準優勝
	10月11日	消防広域再編により釧路北部消防事務組合に鶴居村が加入 副組合長に日野浦正志氏(鶴居村長)就任 鶴居消防署署長に山崎達生氏発令 鶴居消防団長に櫻橋敏夫氏発令 組合議会議員13名(弟子屈町5名、標茶町5名、鶴居村3名)となる
	12月15日	鶴居消防署に小型資機材搬送車を購入し配備
18年	3月31日	標茶消防団第14代目団長幸坂邦夫氏勇退
	4月1日	標茶消防団第15代目団長に田中純一氏就任
	7月20日	北海道消防操法訓練大会に弟子屈消防団が出場し準優勝(消防自動車ポンプの部)
	9月9日	副組合長今西 猛氏(標茶町長)死去 第51回釧路管内消防団員技能競技大会(阿寒町)で鶴居消防団が自動車ポンプの部で優勝・小型ポンプの部で優勝、準優勝
	10月1日	消防長に古屋勝氏発令 弟子屈消防署長に葛尾政行氏発令
	10月22日	副組合長に池田裕二氏(標茶町長)就任
19年	2月14日	弟子屈消防署に高規格救急自動車を購入し配備
	2月15日	鶴居消防署に高規格救急自動車を購入し配備
	3月2日	消防庁長官より鶴居消防団が竿頭綬を受章する
	3月26日	救急救命東京研修所第31期研修生卒業式に標茶消防署、高橋行氏が成績優秀により表彰される
	4月1日	組合収入役制度が廃止され、組合会計管理者(弟子屈町)に國岡 有氏就任 標茶消防署長に飯田徹氏発令
	5月1日	組合議会議員9名(各町村3名)となる
	5月25日	組合議長に村上政市氏(弟子屈町議会議員)を選出
	6月1日	北海道消防協会長より鶴居消防団が竿頭綬を受章する
	6月7日	第30回全国消防職員意見発表会に標茶消防署員が全道を代表して出場
	6月16日	釧路川水防公開演習が標茶町で開催される
	8月2日	弟子屈町在住の男性よりAED1台の寄贈を受け、弟子屈消防署に配置する
	9月9日	第52回釧路管内消防団員技能競技大会(厚岸町)で鶴居消防団が自動車ポンプの部で優勝、標茶消防団が準優勝、弟子屈消防団が小型ポンプの部で優勝、鶴居消防団が準優勝
	12月20日	標茶消防署に高規格救急自動車を購入し配備
	12月21日	鶴居村中幌呂に水槽付消防ポンプ自動車(3,500ℓ)を購入し配備
20年	3月7日	消防庁長官表彰において川湯消防団が竿頭綬を受章する
	4月1日	会計管理者に村田英雄氏(弟子屈町)就任
	4月25日	全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区を代表して出場
	5月26日	川湯ライオンズクラブより軽四トラック1台の寄贈を受け、川湯支署に配置する
	9月6日	北海道消防協会長より川湯消防団が表彰旗を受章する
	9月13日	第53回釧路管内消防団員技能競技大会を弟子屈町川湯で開催し、鶴居消防団が小型ポンプの部で準優勝
	12月4日	組合議長に風祭保夫氏(弟子屈町議会議員)を選出
	12月19日	鶴居消防新庁舎竣工
21年	2月26日	釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され鶴居消防署が13名体制となり、期限付きで弟子屈消防署19名、川湯支署15名となり、組合定数が78名となる
	3月6日	消防庁長官表彰において標茶消防団が竿頭綬を受章する
	4月1日	消防長に館郁男氏発令
	6月5日	第61回北海道消防大会において、北海道消防協会長より鶴居消防団が表彰旗を受章する

	9月12日	第54回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で弟子屈消防団優勝、鶴居消防団準優勝
	9月30日	弟子屈消防団第8代目団長林隆雄氏勇退
	10月1日	弟子屈消防団第9代目団長に藤田茂氏就任
	10月5日	道東ドクターヘリの運航が開始される
22年	2月2日	標茶消防署に小型動力ポンプ付水槽車(9,500ℓ)を購入し配備
	4月1日	弟子屈消防署長に西川進氏発令 会計管理者に高橋進氏(弟子屈町)就任
	4月23日	全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区を代表して出場
	8月31日	釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され鶴居消防署が14名体制となり、組合定数が79名となる
	9月11日	第55回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で弟子屈消防団が優勝、自動車ポンプの部で標茶消防団が優勝
	12月24日	弟子屈消防署川湯支署に屈折はしご(25m級)付消防ポンプ自動車を購入し配備
23年	1月14日	標茶消防団員より標茶消防団費として役立ててほしいと寄付金の申し出があり受納する
	2月25日	釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され、弟子屈消防署18名、川湯支署14名となり、組合定数が77名となる
	3月22日	東日本大震災に伴い緊急消防援助隊第4次北海道隊として標茶消防署員1名を宮城県石巻市に派遣する
	4月9日	東日本大震災に伴い緊急消防援助隊第9次北海道隊として消防本部職員1名、弟子屈消防署員1名、標茶消防署員3名の計5名を宮城県石巻市に派遣する
	4月22日	全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区を代表して出場
	7月14日	北海道消防操法訓練大会に釧路管内を代表し鶴居消防団が出場
	8月25日	釧路北部消防事務組合消防職員定数条例が改正され期限付きで標茶消防署が25名体制となり、組合定数が78名となる
	9月17日	第56回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)で標茶消防団が自動車ポンプの部で優勝、小型ポンプの部で準優勝
	12月15日	鶴居消防署に広報車を購入し配備
24年	2月28日	釧路北部消防事務組合消防団員定数条例が改正され、鶴居消防団副団長2名、鶴居消防団員が43名となる
	3月22日	平成23年12月29日に川湯駅前で発生した住宅火災において、一人暮らしの高齢者を救出した功勞に対し、川湯駅前在住の武山秀樹氏に感謝状を贈呈
	5月20日	副組合長に大石正行氏(鶴居村長)就任
	7月12日	第41回全道救助技術訓練指導会に弟子屈消防署員4名出場
	7月19日	北海道消防操法訓練大会に釧路管内を代表し標茶消防団が出場
	9月15日	第57回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)で標茶消防団が自動車ポンプの部で準優勝
	11月30日	組合議長に館忠良氏(弟子屈町議会議員)を選出
	12月3日	弟子屈消防署に小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)を購入し配備
25年	4月1日	消防長に熊谷英二氏発令 鶴居消防署長に高田勝也氏発令
	5月12日	組合創設40周年記念式典を挙(摩周観光文化センター)
	8月29日	釧路北部消防事務組合消防職員定数が改正され、弟子屈消防署が19名体制となり、組合定数が79名となる
	9月14日	第58回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で鶴居消防団が優勝、消防ポンプ自動車の部で鶴居消防団が準優勝
	10月11日	平成25年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(苫小牧市)に標茶消防署員5名が参加
	10月18日	平成25年10月5日に標茶町で発生した住宅火災において、一人暮らしの高齢者を救出した功勞に対し、標茶町在住の阪口康裕氏に感謝状を贈呈

	11月21日	北海道消防表彰式において鶴居消防団が表彰旗を受章する
	11月24日	消防団120周年・自治体消防65周年記念大会(東京ドーム)
26年	1月7日	平成25年12月17日に弟子屈町で発生した住宅火災において、一人暮らしの高齢者を救出した功勞に対し、弟子屈町在住の石川裕氏に感謝状を贈呈
	3月20日	消防救急デジタル無線運用開始
	4月1日	消防長に松田孝之氏発令 弟子屈消防署長に鏡信雄氏発令 鶴居消防団に下幌呂消防部、女性消防部を設置する
	5月23日	釧路北部消防事務組合消防職員定数が改正され、弟子屈消防署が18名体制となり、組合定数が78名となる
	7月14日	釧路北部消防事務組合議会議員行政視察研修で宮城県・岩手県を視察
	9月13日	第59回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)消防ポンプ自動車の部で鶴居消防団が優勝
	10月22日	平成26年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(弘前市)に弟子屈消防署員1名、鶴居消防署員1名の計2名が参加
	12月25日	総務省消防庁より救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車が無償貸付され鶴居消防団に配備
27年	3月20日	北海道共済農業協同組合連合会から高規格救急自動車の寄贈を受け、標茶消防署に配備する
	4月1日	消防長に菅井憲昭氏発令 標茶消防署長に田中善志氏発令
	7月18日	第44回全道消防救助技術訓練指導会に標茶消防署員4名、鶴居消防署員3名が出場
	9月12日	第60回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で鶴居消防団が優勝、消防ポンプ自動車の部で標茶消防団が優勝、準優勝
	9月24日	弟子屈消防署川湯支署に消防ポンプ自動車を購入し配備
	11月22日	鶴居村下幌呂に部詰所を新築、消防ポンプ自動車を配置する
28年	4月19日	全道消防職員意見発表会に標茶消防署員が道東地区を代表して出場
	7月15日	北海道消防操法訓練大会に釧路管内を代表し川湯消防団が出場
	7月16日	第45回全道消防救助技術訓練指導会に標茶消防署員5名、鶴居消防署員4名が出場し、鶴居消防署員が知事賞(ロープブリッジ渡過の部)を受賞
	8月24日	第45回全国消防救助技術大会(松山市)に標茶消防署員1名(はしご登はん)、鶴居消防署員1名(ロープブリッジ渡過)が出場
	9月10日	第61回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で川湯消防団が優勝、消防ポンプ自動車の部で標茶消防団が準優勝
	11月30日	釧路北部消防事務組合消防職員定数が改正され、標茶消防署が26名体制となり、組合定数が79名となる
29年	6月17日	釧路川水防公開演習が標茶町で開催される
	7月13日	釧路北部消防事務組合消防本部及び弟子屈消防署を川上郡弟子屈町美里3丁目8番1号へ新築移転し運用開始
	7月15日	第46回全道消防救助技術訓練指導会に標茶消防署員3名、鶴居消防署員4名が出場
	8月25日	第69回北海道消防大会が弟子屈町で開催される
	9月9日	第62回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で弟子屈消防団が優勝、準優勝、自動車ポンプの部で鶴居消防団が準優勝
	10月6日	平成29年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(米沢市)に本部職員1名、標茶消防署員1名の計2名が参加
	10月12日	北海道共済農業協同組合連合会から高規格救急自動車の寄贈を受け、鶴居消防署に配備する
	11月22日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて高規格救急自動車を購入し、弟子屈消防署に配備する
30年	3月22日	釧路北部消防事務組合消防職員定数が改正され、鶴居消防署が15名体制となり組合定数が80名となる

	7月21日	第47回全道消防救助技術指導会に鶴居消防署員4名が出場
	9月30日	鶴居消防団第10代目団長櫻橋敏夫氏勇退
	10月1日	鶴居消防団第11代目団長に松井廣道氏就任
	10月22日	副組合長に佐藤吉彦氏(標茶町長)就任
	12月13日	標茶消防署に指令車を購入し配備
31年	1月7日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて水槽車(10,000ℓ)を購入し、鶴居消防署に配備する
	3月6日	消防庁長官表彰にて、標茶消防団・鶴居消防団が表彰旗を受章する
	3月28日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業にて先攻車(5,000ℓ)を購入し、標茶消防署に配備する
	3月31日	川湯消防団第7代目団長濱岡正次氏勇退
	4月1日	川湯消防団第8代目団長に不動繁雄氏就任
令和元年	7月16日	弟子屈消防署に水難救助艇を購入(更新)し配備
	7月19日	北海道消防操法訓練大会に釧路管内代表として弟子屈消防団が出場し準優勝
	7月20日	第48回全道消防救助技術指導会に鶴居消防署員4名が出場
	9月14日	第64回釧路管内消防団員技能競技大会(釧路市)小型ポンプの部で鶴居消防団が優勝、自動車ポンプの部で鶴居消防団が準優勝
	10月21日	弟子屈消防団・川湯消防団にそれぞれ配備していた消防団輸送車を1台とし、購入(更新)し弟子屈消防署に配備する
	12月5日	公益財団法人日本消防協会から消防団活動車の寄贈を受け、弟子屈消防署に配備する
	12月19日	令和元年11月22日に弟子屈町で発生した屈斜路湖の水難事故において、三名を救助した功勞に対し、弟子屈町川湯在住の祖父江健一氏に感謝状を贈呈

2 弟子屈消防（釧路北部消防事務組合設立前）

大正 13年 3月	北海道庁令第40号により公設弟子屈消防組が認可され腕用ポンプ1台配置 初代組頭に斉藤昇氏外小頭2名消防手27名を以って発足した
15年 3月	北海道庁令第19号により消防手5名増員され消防ポンプ自動車1台購入配置した
昭和 2年 1月	北海道庁令第2号により小頭1名増員された
3年 5月	北海道庁令第43号により消防手5名増員された
4年 6月	北海道庁警察部長より金馬廉1条の使用を認可せられる
5年	旧番屋を村役場に移転する
11年 10月	陸軍特別大演習並びに地方行幸による警備に対し北海道長官より感謝状を授与された
12年 10月	消防詰所を弟子屈町字弟子屈190番地に新築
14年 4月	警防団令の制定により川湯消防組を統合し弟子屈警防団に改組し、2分団制とする 初代警防団長に斉藤昇氏就任
6月	第2代目警防団長に本山時宜三氏就任
8月	第3代目警防団長に池田信盛氏就任
16年 9月	消防ポンプ自動車1台購入弟子屈分団に配置
17年 9月	消防ポンプ自動車1台購入川湯分団に配置
22年 8月	消防団令の公布により、弟子屈消防団と川湯消防団に改組する
24年 8月	第4代目消防団長に国岡豊一氏就任
29年 8月	水そう付消防ポンプ自動車(2,000ℓ)1台購入
31年 4月	第5代目消防団長に野田口徳蔵氏就任
9月	消防車購入の援助として長期計画のもとに10町歩の消防植林を造成
32年 10月	水道事業の認可により消火栓25基設置
37年 3月	弟子屈小学校火災の延焼防止の功績により日本消防協会長より竿頭綬を授けられる
9月	可搬式小型動力ポンプ1台購入
38年 9月	可搬式小型動力ポンプ1台購入
12月	水そう付消防ポンプ自動車(2,500ℓ)1台購入
40年 5月	消防ポンプ自動車1台購入
42年 7月	弟子屈中央電器株式会社より可搬式小型動力ポンプ1台寄贈される
43年 9月	北海道消防協会より優良消防団として表彰旗を授与される
44年 9月	可搬式小型動力ポンプ1台購入
45年 1月	弟子屈消防団新庁舎落成
46年 12月	第6代目消防団長に古屋利八氏就任 水そう付消防ポンプ自動車(2,500ℓ)1台購入
47年 1月	摩周工産株式会社より指令車1台寄贈される

3 川湯消防（釧路北部消防事務組合設立前）

昭和 7年 12月	川湯地区に消防組を設立し、初代組頭五月女十次郎氏以下30名を以って設立する
9年	消防番屋新築
	川湯市街に特設電話が開通する
10年 10月	消防ポンプ自動車1台配備する
14年 4月	川湯消防組は「警防団令」の施行に伴い「弟子屈警防団川湯分団」となる
16年 8月	消防ポンプ自動車1台配備する
21年 8月	弟子屈警防団より分かれ「川湯警防団」となり、2代目警防団長に宇山久観氏就任
22年 10月	消防団令の一部改正により「川湯警防団」から「川湯消防団」に改める
23年 5月	川湯市街大火により消防番屋焼失
25年 2月	第3代目消防団長根津文男氏就任
10月	消防番屋、車庫を新築する
28年 10月	消防番屋横にサイレンを設置する
29年 10月	常備消防団員1名配置する

30年11月	防火水槽2基設置する
31年11月	小型動力ポンプ(芝浦式)1台配置する
33年12月	消防ポンプ自動車1台配置する
37年9月	水道事業開始により川湯市街地に消火栓10基設置する
39年12月	水そう付消防ポンプ自動車1台配置する
40年4月	常備消防団員増員されて2名体制となる
42年8月	小型動力ポンプ(芝浦式)1台配置する
11月	北海道知事より優良消防団として竿頭綬を授与される
43年12月	国有地に消防庁舎、弟子屈町役場支所との合同庁舎落成する ダイヤル式電話になり、消防専用電話119番を設置する
44年9月	常備消防団員増員されて3名体制となる
45年9月	釧路管内消防団員技能競技大会にて自動車ポンプの部で優勝する 小型動力ポンプ(ラビット)1台配置する 釧路管内消防団員技能競技大会にて自動車ポンプの部で優勝する
10月	川湯市街地に消火栓2基設置する
11月	川湯市街地に防火水槽2基設置する
46年4月	御園ホテル株式会社より指揮車1台寄贈
9月	川湯市街地に消火栓2基設置する
11月	川湯市街地に防火水槽2基設置する
47年9月	水そう付消防ポンプ自動車1台配置する

4 標茶消防 (釧路北部消防事務組合設立前)

明治21年	義勇消防隊発足(島田清兵衛氏)
25年	私設消防隊として発足
32年	勅令消防組規則により熊牛消防組公設、初代組頭に島田清兵衛氏就任 龍吐水1台購入
43年6月	第2代目組頭に木下堅三氏就任
45年	ドイツ式腕用ポンプ1台購入(300円の基金を得る)
大正3年9月	第3代目組頭に鈴木操氏就任
9年8月	大水害(釧路川のはんらん)
14年5月	第4代目組頭に森下辰蔵氏就任となったが後半の約1年間は三本氏、北浦氏両 小頭がこれを代理した
昭和4年2月	第5代目組頭に木下堅三氏就任、消防番屋を設置
5年	腕用ポンプ1台増設
10年6月	第6代目組頭に北村休二郎氏就任
7月	タービン式消防ポンプ自動車1台購入
11月	消防ポンプ自動車(中古車)1台購入
14年	組織改革により標茶、磯分内、塘路に分団創設
15年	警防団本部を標茶に設け、組頭を警防団長と改称
17年5月	第7代目警防団長に千葉軍治氏就任、副団長制を創設中村次男氏を任命
20年7月	標茶市街空襲により鉄道官舎等に被害あり
	組織改革により警防団を消防団と改める
22年5月	千葉消防団長が村長選挙出馬、第8代目消防団長に中村次男氏就任、副団長に 酒井道太郎氏を推薦
23年	木村式腕用ポンプ1台購入
12月	第9代目消防団長に酒井道太郎氏就任、副団長に三本仙一郎氏推挙
25年	タービン式消防ポンプ自動車1台購入
28年5月	標茶市街大火102世帯り災
34年	消防団本部庁舎新築、消防会館設置
35年4月	酒井消防団長退団、第10代目消防団長に三本仙一郎氏就任 団組織強化のため副団長を複数化千葉実氏、森山光太郎氏、島崎清二氏の3人 を選任

35年 4月	消防団本部を常備化、常備団員3人配置 (常備団員26年10月1名、31年2月1名、35年6月1名)
40年	厚岸信用金庫より消防ポンプ自動車1台寄贈(信金号)
44年	役場より消防事務移管
46年	米沢歯科医院より救急車1台寄贈(よねざわ号)
47年	標茶市街上水道布設により消防用消火栓38基新設
48年	千葉実副団長依願退職、千葉義一氏を副団長に任命

5 鶴居消防 (釧路北部消防事務組合加入前)

昭和14年	鶴居村警防団団長保田諒庵氏就任
22年	鶴居警防団が鶴居村消防団となる (団長1名・副団長1名・部長10名・(10班)団員28名(車付腕用ポンプ配置))
30年 4月 1日	鶴居村消防団組織変更により2分団となる 第1分団、分団長以下24名(鶴居市街)・第2分団、分団長以下14名(中幌呂)
32年 3月31日	第1分団に小型動力ポンプ1台を配置(ラビット)
39年 8月	第2分団に小型動力ポンプ1台を配置(シバウラ)
10月	第1分団にポンプ車を配置(トヨタ)
12月 1日	第3分団設置発足 分団長以下12名(上幌呂)
41年 7月	第3分団に小型動力ポンプ1台を配置
42年 9月14日	第2分団にポンプ車を配置(日産)
45年10月	第3分団に小型動力ポンプ1台を配置(ラビット)
46年 6月	第1・4分団用として小型動力ポンプ2台購入
7月	第4分団詰所新築(32㎡)
8月24日	第4分団設置発足 分団長以下8名(下久著呂)
49年 3月31日	第1分団にポンプ車を配置(日産)(佐々木建設寄贈)
4月 1日	釧路西部消防組合発足に伴い鶴居村消防団を鶴居消防団に改称
9月	第19回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
50年10月	第2分団庁舎新築(216㎡)
12月23日	第1分団にタンク車を配置(三菱、2,000ℓ)(佐々木建設寄贈)
52年 7月	小型動力ポンプ1台購入
53年 9月14日	第2・3回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
9月30日	鶴居消防団長堀口貞雄氏退任
10月 1日	後任団長に三浦菊治氏昇格
12月14日	タンク車購入(日野3,000ℓ)
55年 1月 1日	副団長に第1分団長和田歳八氏が昇格
12月	第4分団車庫新築(22㎡)
56年 9月19日	第26回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
59年 6月	第3分団庁舎増改築(104㎡)
61年 9月	第31回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
62年 9月	第32回管内技能競技大会小型ポンプの部優勝
63年 9月	第33回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
11月	北海道知事より竿頭授受章
平成 元年12月	第2分団に小型動力ポンプ積載車配置(イスズ、4WD)
2年 9月30日	副団長和田歳八氏退任
10月 1日	後任副団長に第1分団長平田 清氏昇格
3年 2月	第3分団にタンク車配置(日野、2,000ℓ)
4年 9月	第37回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
10月	第4分団詰所新築(木造平屋80,19㎡)
5年 3月10日	副団長平田清氏退任
4月 1日	後任副団長に第1分団長櫻橋敏夫氏昇格
11月	第2分団詰所新築(木造一部鉄筋平屋建189.00㎡)

7年12月	第3分団詰所新築(木造一部鉄筋平屋建 159.84 m ²)
8年 7月	北海道消防操法訓練大会小型ポンプの部に第1分団出場
9月	第41回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
12月	第1分団にタンク車を配置(ニッサン 3,000ℓ)
9年 9月	第42回管内技能競技大会小型ポンプの部準優勝
10年 2月	第4分団に小型動力ポンプ積載車を配置(三菱、4WD)
9月	第43回管内技能競技大会小型ポンプの部優勝
9月30日	鶴居消防団長三浦菊治氏退任
10月 1日	後任団長に副団長櫻橋敏夫氏昇格
	後任副団長に第2分団長伊藤 力氏昇格
12年 9月	第45回管内技能競技大会自動車ポンプの部優勝
13年 9月	第46回管内技能競技大会自動車ポンプの部優勝、小型ポンプの部準優勝
14年 9月	第47回管内技能競技大会自動車ポンプの部及び小型ポンプの部優勝
9月30日	鶴居消防団副団長伊藤 力氏退任
10月 1日	後任副団長に第1分団長久保田欣史氏昇格
15年 9月 6日	第48回管内技能競技大会自動車ポンプの部優勝、小型ポンプの部準優勝
16年 9月 11日	第49回管内技能競技大会小型ポンプの部優勝及び準優勝
17年 2月 16日	鶴居消防団副団長長久保田欣史氏退任
4月 1日	後任副団長に第2分団長山口紘美氏昇格
9月 10日	第50回管内技能競技大会小型ポンプの部優勝
10月 10日	釧路西部消防組合解散になる

平成30年度決算額及び平成31（令和元）年度当初予算額

歳 入

(単位：千円)

款	項	平成30年度決算額	平成31（令和元）年度 当初予算額
1. 分担金及び負担金	1. 負 担 金	960,728	861,815
2. 使用料及び手数料		220	210
	1. 使 用 料	0	0
	2. 手 数 料	220	210
3. 国庫支出金	1. 国庫補助金	32,670	0
4. 道支出金	1. 道補助金	1,942	1,942
5. 財産収入	1. 財産運用収入	2,153	2,099
6. 繰越金	1. 繰越金	14,338	300
7. 諸収入		4,502	5,567
	1. 組合預金利子	0	3
	2. 雑 入	4,502	5,564
8. 組合債	1. 組 合 債	2,700	12,800
歳 入 合 計		1,019,253	884,733

歳 出

(単位：千円)

款	項	平成30年度決算額	平成31（令和元）年度 当初予算額
1. 議会費	1. 議 会 費	504	592
2. 総務費		69,037	73,137
	1. 総務管理費	68,222	72,186
	2. 監査委員費	815	951
3. 消防費		934,909	806,704
	1. 常備消防費	631,947	645,400
	2. 非常備消防費	49,678	61,582
	3. 消防施設費	253,284	99,722
4. 公債費	1. 公 債 費	2,543	4,000
5. 予備費	1. 予 備 費	0	300
歳 出 合 計		1,006,993	884,733

平成31（令和元）年度普通建設事業調（令和元年12月末現在）

（単位：千円）

事業名	事業費	内容・規格等	配置（配備）場所
消防団輸送車更新事業	9,636	消防団員等輸送車の更新	弟子屈消防団
水難救助艇購入事業	3,372	水難救助用ボート、船外機等の購入	弟子屈消防署
貯水槽解体工事	2,057	道路拡張工事に伴う貯水槽（60t）の解体撤去工事	弟子屈町美里4丁目
標茶消防庁舎改修工事	56,639	標茶消防庁舎改修工事 ・屋根、トイレ、浴室等の改修工事 主体工事 38,313千円 機械設備工事 15,312千円 電気設備工事 3,014千円	標茶消防署
防火水槽解体工事	14,000	私有地に設置されている防火水槽の解体撤去工事	標茶町上チャンベツ
消防団員安全装備品購入事業	4,695	防火衣購入 38着 （石油貯蔵施設立地対策交付金事業）	鶴居消防団
コミュニティ助成事業	1,053	チェーンソー・ヘルメット・防護服・発電機の購入	鶴居消防団
地図検索システム更新事業	10,196	通信指令装置（地図検索システム、119番通報装置）の更新	鶴居消防署
計	101,648		

平成30年度普通建設事業費調（決算）

（単位：千円）

事業名	事業費	規格等	配置（配備）場所
初期消火資機材購入事業	2,765	小型動力ポンプ B-2級 1台	弟子屈消防署
川湯消防庁舎屋根防水工事	6,480	庁舎屋根防水工事	川湯支署
職員待機宿舎屋根改修工事	1,167	待機宿舎屋根改修工事	弟子屈町美里2丁目1番
高度救命資機材購入事業	2,970	救命資機材一式購入（半自動式除細動器・リチウムイオンバッテリー・バッテリーチャージャ・記録器・使い捨てパッド他）	標茶消防署
消防救急デジタル無線部分更新事業	8,586	消防署管理監視制御車・ネットワーク装置・厚生基地局ネットワーク装置更新	標茶消防署
標茶消防庁舎暖房給排水設備実施設計委託事業	2,592	標茶消防庁舎暖房給排水設備実施設計委託事業	標茶消防署
災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入事業	91,692	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入	標茶消防署
消防指令車購入事業	7,387	消防指令車購入（ワンボックスバンタイプ車）	標茶消防署
常盤地区耐震性貯水槽新設工事	11,794	耐震性貯水槽 60m ³ 型	標茶町常盤9丁目1番地
虹別地区耐震性貯水槽新設工事	12,118	耐震性貯水槽 60m ³ 型	標茶町字虹別原野67線103番地4
防火貯水槽解体工事に係る設計委託	2,473	私有地に設置されている防火水槽の解体に伴う設計委託	標茶町字上茶安別原野基線13番地30
標茶消防庁舎暖房・給湯ボイラー改修工事	45,576	・標茶消防署機械設備改修工事30,132 ・標茶消防署電気設備改修工事15,444	標茶消防署
消防団安全装備品購入事業	2,139	トランシーバー購入 25台 （石油貯蔵施設立地対策交付金事業）	鶴居消防署
鶴居消防団第3分団外壁補修工事	3,888	分団詰所の外壁補修工事	鶴居村字幌呂原野第1基線47番地4
災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車購入事業	50,760	災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車購入	鶴居消防署
事務用パソコン購入事業	1,436	パソコン更新 8台	鶴居消防署
計	253,823		

人 口 ・ 世 帯 数 及 び 面 積

年 別	地 域	面 積	世 帯 数	人 口			附 記
				男	女	計	
令和元年 12月31日 現 在	弟子屈町	774.50km ²	3,843 世帯	3,364 名	3,738 名	7,102 名	住民基本台帳
	標茶町	1,099.37km ²	3,646 世帯	3,595 名	3,908 名	7,503 名	
	鶴居村	571.80km ²	1,183 世帯	1,265 名	1,244 名	2,509 名	
	計	2,445.67km ²	8,672 世帯	8,224 名	8,890 名	17,114 名	

消 防 本 部 ・ 消 防 署 人 員 配 置 状 況

(令和元年12月末現在)

区 分		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	事務職員	計
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	総 務 課		1	1				1	3
	消 防 課		2			1			3
	小 計	1	3	1		1		1	7
消 防 署	弟子屈消防署		7	11	1	7	5		31
	標茶消防署		6	10	2	2	5		25
	鶴居消防署		3	5	2	2	3		15
	小 計		16	26	5	11	13		71
合 計		1	19	27	5	12	13	1	78

職 員 勤 続 状 況

(令和元年12月末現在)

区 分	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	計
1 年 未 満						1		1
1年以上～5年未満						9		9
5 年 " ～ 10 年 "				4	12	3		19
10 年 " ～ 15 年 "			5	1				6
15 年 " ～ 20 年 "			12					12
20 年 " ～ 25 年 "		4	7					11
25 年 " ～ 30 年 "		4	3					7
30 年 以 上	1	11					1	13
計	1	19	27	5	12	13	1	78

職 員 年 令 別 状 況

(令和元年12月末現在)

区 分	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	計
20 歳 未 満						2		2
20歳以上～25歳未満						6		6
25 歳 " ～ 30 歳 "					9	5		14
30 歳 " ～ 35 歳 "				4	3			7
35 歳 " ～ 40 歳 "			16	1				17
40 歳 " ～ 45 歳 "		2	7					9
45 歳 " ～ 50 歳 "		4	4					8
50 歳 " ～ 55 歳 "		5						5
55 歳 以 上	1	8					1	10
計	1	19	27	5	12	13	1	78

職 員 教 育 状 況

(令和元年12月末現在)

区 分	職員数	初 任 教 育	専 科											
			幹部	予防 査 察	火災 調 査	危 険 物	救 急					警 防	救 助	都 市 型 救 助
							I 課 程	II 課 程	標 準 課 程	救 急 科	救 命 士			
消 防 本 部	7	6	1	1	3		3	3	2	1	5		3	1
弟 子 屈 消 防 署	31	30		2	7	2		1	4	7	18	2	10	
標 茶 消 防 署	25	25		3	5	1	5	5	9	10	13		10	1
鶴 居 消 防 署	15	15	2	1	3	2	3	3	3	5	10	4	5	2
計	78	76	3	7	18	5	11	12	18	23	46	6	28	4

消 防 団 員 人 員 配 置 状 況

(令和元年12月末現在)

	階 級	団 長				副 団 長				分 団 長				副 分 団 長				部 長				班 長				団 員				計				合 計												
	団 名	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴		弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴
	団本部 及び分団名	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子		子	子	子	子	子	子	子	子				
団 本 部	1	1	1	1	1	1	3	2																									2	2	4	3	11									
女性消防部																	1	1	1	1	1	3	2	4	4	4	7	3	5	5	11	6	27													
第 1 分 団									1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	2	5	4	4	4	11	7	8	16	21	16	17	24	78													
屈斜路消防部																	1				1				10				12	0	0	0	12													
駅前消防部																													0	0	0	0	0													
茶安別消防部																		1					3				6		0	0	10	0	10													
下幌呂消防部																			1				1				8		0	0	0	10	10													
第 2 分 団									1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	3	2	6	5	5	3	13	7	6	8	24	15	16	15	70													
美留和消防部																	1				1				6				8	0	0	0	8													
久著呂消防部																		1					3				3		0	0	7	0	7													
第 3 分 団										1	1			1	1				3	1			5	2			7	5	0	0	17	10	27													
第 4 分 団										1	1			1	1				2	1			3	2			6	7	0	0	13	12	25													
阿歴内消防部																			1				3				6		0	0	10	0	10													
第 5 分 団										1				1					3				5				6		0	0	16	0	16													
実 数	1	1	1	1	1	1	3	2	2	1	5	4	2	2	5	4	8	6	18	8	14	9	34	14	44	18	55	47	72	38	121	80	311													
定 員	1	1	1	1	1	1	3	2	2	2	5	4	2	2	5	4	8	6	18	8	14	13	35	15	52	39	71	57	80	64	138	91	373													

消 防 団 員 勤 続 年 数 別 状 況

(令和元年12月末現在)

	階 級	団 長				副 団 長				分 団 長				副 分 団 長				部 長				班 長				団 員				計				合 計								
	団 名	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴		弟	川	標	鶴	弟	川	標	鶴
	年 数	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子		子	子	子	子	子	子	子	子
1 年 未 満																													6	1	0	0	6	1	7							
1年以上～5年未満																													9	7	15	6	9	7	15	6	37					
5年〃～10年〃																			1		1	1	3		9	6	9	19	9	7	10	23	49									
10年〃～15年〃																					1	1	7		11	3	12	9	12	4	19	9	44									
15年〃～20年〃															1	1		1	1	2		10	3		4	1	7	6	6	1	19	11	37									
20年〃～25年〃										1		1		1	1		2	5	4	2	2	4	8	2	5	1	3	2	7	8	16	10	41									
25年〃～30年〃							1		1	1	1			1			1	5		2		1	1	2	2	2	1	5	5	1	9	4	19									
30年〃～35年〃							1	1		1	1	3		1	3	1	1	1	3	1	5	2	3	2	1	1		7	7	5	11	5	28									
35 年 以 上	1	1	1	1	1		3		2	4	1	2		2			6	3	3	1	2	1	5	3	3		3	17	5	16	11	49										
計	1	1	1	1	1	1	3	2	2	1	5	4	2	2	5	4	8	6	17	8	14	9	35	14	44	18	55	47	72	38	121	80	311									

消防団員階級別職業別状況

(令和元年12月末現在)

階級	団名	農	林	建	製	電	運	卸	金	飲	医	教	サ	団	公	無	そ	計	経	被	
		業	業	設	造	気・ガス業	輸	・小売業	融・保険業	食・宿泊業	療・福祉業	育・学習業	ービス業	体職員	務員	職	の他				営者
団長	弟子屈																1	1	1		
	川湯																1	1			1
	標茶居												1						1	1	
副団長	弟子屈					1													1	1	
	川湯												1						1		1
	標茶居			1				1					1			1			3	3	
分団長	弟子屈												1						2	1	1
	川湯												1						1	1	
	標茶居	2		1	1												1		5	4	
副分団長	弟子屈											1	1						2	1	1
	川湯							1					1						2		2
	標茶居	2		1	1								1						5	4	1
部長	弟子屈	1		1	1								4				1		8	1	7
	川湯	2	1					1			1		1						6	2	4
	標茶居	8	1	4						1	1		1				2		18	10	8
班長	弟子屈	2	1		1	3		2	2		1	1	1	1					14	5	9
	川湯	1	2	1				1		2			2						9	5	4
	標茶居	18		2				2	3		1		6		1	1	1		35	18	16
団員	弟子屈	8		5	1	5		2		4	1	1	13	3		1			44	12	31
	川湯	2		1	2			3		1	5		3	1					18	1	17
	標茶居	21		3		1	2	2		1	7		16		1				54	33	21
計	弟子屈	11	1	6	3	9		4	2	5	2	2	20	4		1	2		72	22	49
	川湯	5	3	2	2			6		3	6		9	1			1		38	9	29
	標茶居	51	1	12	2	1	2	5	3	2	9		26		2	2	3		121	73	46
合計	101	5	22	7	10	2	15	7	11	18	2	63	16	12	8	12		311	129	174	

消 防 職 ・ 団 員 及 び 消 防 自 動 車 単 位 当 たり 数

区 分		職員 1 人 当 り				団 員 1 人 当 り				消 防 車 1 台 当 り			
		職 員 数 (人)	面 積 (km ²)	世 帯 (世帯)	人 口 (人)	団 員 数 (人)	面 積 (km ²)	世 帯 (世帯)	人 口 (人)	車 両 数 (台)	面 積 (km ²)	世 帯 (世帯)	人 口 (人)
平成 22 年 末	弟 子 屈	33	24	121	251	127	6	31	65	13	60	306	637
	標 茶	24	46	151	352	129	9	28	65	11	99	330	768
	鶴 居	14	41	74	182	68	8	15	37	7	82	148	363
	組 合	78	37	115	262	324	8	25	56	31	80	261	589
平成 23 年 末	弟 子 屈	32	24	125	257	125	6	32	66	13	60	307	633
	標 茶	24	46	152	350	131	8	28	64	11	99	331	764
	鶴 居	14	38	71	169	66	9	16	38	7	82	152	363
	組 合	78	36	116	259	322	8	25	56	31	80	263	587
平成 24 年 末	弟 子 屈	32	24	124	253	125	6	32	65	13	60	279	623
	標 茶	25	44	145	331	129	9	28	64	11	100	330	753
	鶴 居	14	38	71	168	67	9	16	38	7	82	152	360
	組 合	79	35	113	251	321	8	25	56	31	81	254	579
平成 25 年 末	弟 子 屈	33	23	121	243	119	7	33	67	13	60	306	617
	標 茶	25	44	157	324	124	9	32	65	11	100	356	737
	鶴 居	13	44	83	194	70	8	15	36	7	82	155	361
	組 合	78	37	120	254	313	8	27	56	31	80	272	572
平成 26 年 末	弟 子 屈	32	24	124	246	117	7	34	67	11	70	360	716
	標 茶	25	44	145	320	126	9	29	64	11	100	331	728
	鶴 居	14	41	78	180	82	7	13	31	8	71	137	315
	組 合	78	36	116	249	325	8	25	54	30	81	276	586
平成 27 年 末	弟 子 屈	31	25	128	251	118	7	34	66	11	70	360	706
	標 茶	25	44	146	317	123	9	30	64	11	100	332	721
	鶴 居	14	41	78	178	83	7	12	30	8	64	122	277
	組 合	77	37	117	249	324	7	25	53	31	78	271	568
平成 28 年 末	弟 子 屈	32	24	123	238	117	7	34	65	11	70	359	692
	標 茶	24	46	153	326	124	9	30	63	11	100	333	711
	鶴 居	14	41	81	180	83	7	14	30	9	64	126	281
	組 合	77	37	119	248	324	7	26	53	31	78	273	561
平成 29 年 末	弟 子 屈	32	24	122	232	117	7	33	64	11	70	356	676
	標 茶	26	42	141	297	125	9	29	62	11	100	334	702
	鶴 居	14	41	82	181	82	7	14	31	9	64	127	282
	組 合	78	36	115	237	324	7	26	52	31	78	272	553
平成 30 年 末	弟 子 屈	31	25	123	234	117	7	33	62	11	70	347	660
	標 茶	26	42	141	293	120	9	30	63	11	100	333	692
	鶴 居	15	38	77	169	81	7	14	31	9	64	129	282
	組 合	78	35	114	232	318	8	26	52	31	78	269	544
令 和 元 年 末	弟 子 屈	31	25	124	229	110	7	35	65	10	77	384	710
	標 茶	25	44	146	300	121	9	30	62	11	100	331	682
	鶴 居	15	38	79	167	79	7	15	32	9	64	131	279
	組 合	78	36	116	232	310	8	27	53	30	80	282	557

一 般 家 庭 査 察 件 数

(令和元年中)

区 分	全世帯数	実施世帯数	改 善 指 導 事 項				
			暖房設備	煙突煙道	少 量 危 険 物	電 気 プロパン	そ の 他
弟 子 屈	3,843	25					
標 茶	3,646	127	2				
鶴 居	1,181	1,181		1			
計	8,670	1,333	2	1			

防 火 対 象 物 査 察 導 件 数

(令和元年中)

区 分	査 察 実 施 対 象 物 数	指 導 対 象 物 数	不 備 欠 陥 事 項										
			煙 突 煙 道 関 係	ス ト ー プ 関 係	火 気 使 用 関 係	電 気 関 係	危 険 物 関 係	消 火 設 備 関 係	警 報 設 備 関 係	避 難 設 備 関 係	防 火 管 理 関 係	そ の 他	計
公 会 堂 ・ 集 会 場	12	6					1	1	1	3	1	2	9
遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	1	1							1	1	1		3
飲 食 店	22	19			2		4	10	1	2	9	13	41
百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗	17	9			1		3	1		1	9	5	20
旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	58	40		1	1	3	15	13	24	22	18	28	125
寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	28	20					3	13		4	19	1	40
病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	8	5					2			3	3	1	9
老 人 短 期 入 所 施 設 等	15	9					3	2	3	3	3	5	19
老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	19	8					1	1	2	1	1	3	9
幼 稚 園													-
小 ・ 中 ・ 高 等 学 校 等	2	2								2			2
図 書 館 ・ 博 物 館	7	7					2		1	3	4		10
公 衆 浴 場	2	2					1	1	2	1		1	6
車 両 停 車 場													-
神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	1	1							1				1
工 場 ・ 作 業 場	11	8					3	6	4		1	6	20
自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場													-
倉 庫													-
上 記 に 該 当 し な い 事 業 場	28	16			1		7	6	2	2	4	3	25
特 定 用 途 複 合 防 火 対 象 物	24	8				1	3	4	1	3	5	2	19
上 記 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	13	9			1		6	7	1	1		4	20
重 要 文 化 財 等													-
計	268	170	-	1	6	4	54	66	44	52	77	74	378

防 火 対 象 物 数

(令和元年中)

区 分	防火対象物総数	弟子屈消防署						標茶消防署						鶴居消防署						
		二階以下	三階	四階	五階以上	地階	選防火対象管理者	二階以下	三階	四階	五階以上	地階	選防火対象管理者	二階以下	三階	四階	五階以上	地階	選防火対象管理者	
公会堂・集会場	81	19	1			1	18	49						19	12					12
遊技場・ダンスホール	2	1	1			1	2													
飲食店	56	35					12	21						9						
百貨店・マーケット・店舗	50	27	1			3	9	18						11	4					1
旅館・ホテル・宿泊所	82	49		1	9	10	27	14	1		1		6	7					5	
寄宿舎・下宿・共同住宅	209	99	15	5			15	64	16					10						
病院・診療所・助産所	10	4	1				2	1	1					3					1	
老人短期入所施設等	11	7		1		1	8	2						2	1				1	
老人デイサービスセンター等	38	11					7	21						7	6				3	
幼稚園																				
小・中・高等学校等	24	5	3			1	4	8	3					7	5				4	
図書館・博物館	11	4	2			2	5	3						3	2				1	
公衆浴場	5	5					2													
車両停車場	7	1						6						1						
神社・寺院・教会	20	10					7	8						3	2				2	
工場・作業場	99	31				1	1	59	1		1		1	7					2	
自動車車庫・駐車場	32	19						13												
倉庫	79	26						52						1						
上記に該当しない事業場	180	74	3			5	6	83						20					9	
特定用途複合防火対象物	144	65	3	1		11	19	74					20	1					1	
上記以外の複合用途防火対象物	45	19	1			1	2	24						1					1	
重要文化財等	2							2												
計	1187	511	31	8	9	(37)	146	522	22	0	2	(0)	89	82	0	0	0	(0)	43	

(地階については、防火対象物総数に算入しない。)

建築許可等同意月別取扱件数

(令和元年中)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
構 造 別	耐 火		1			1	1							3
	準耐火(非木造)			1			1		1	1		1	1	6
	準耐火(木造)	1	1		1		1							4
	防 火													-
	木 造	1					6	3			1			11
	そ の 他					1							2	3
建 築 別	新 築	1	2	1	1	2	9	3	1	1	1		3	25
	増 改 築	1										1		2
	そ の 他													-
階 層 別	1 階	1	1	1	1	2	6	1	1				2	16
	2 階	1	1				2	2		1	1		1	9
	3 階 以 上						1					1		2
用 途 別	住 宅		1				4	1		1			1	8
	店 舗			1										1
	旅館・ホテル等						1	1						2
	工場・作業場	1					2		1					4
	そ の 他	1	1		1	2	2	1			1	1	2	12
建築確認同意数		2	2	1	1	2	9	3	1	1	1	1	3	27
建築通知数		2	1	2	2	1	5	4	3	3	2	1	6	32

各種申請及び届出等の取扱件数

(令和元年中)

消防署別 区 分	弟子屈	標 茶	鶴 居	計
危険物製造所等設置許可				
危険物製造所等変更許可	5	2	1	8
危険物製造所等完成検査	5			5
危険物製造所等廃止届		4		4
危険物製造所等譲渡引渡届	2			2
危険物製造所等種類数量変更届				
仮貯蔵・仮取扱				
仮使用				
危険物保安監督者選解任届	2	6	2	10
防火管理者選任届	18	32	9	59
防火管理者解任届	19		9	28
自動火災報知設備	13	7		20
漏電火災警報器	1			1
屋内消火栓設備	1	2		3
その他の消防用設備	8	14		22
消防用設備等点検結果報告	182	174	100	456
消防計画書提出	22	17	9	48
防火対象物使用開始届	10	9	6	25
少量危険物貯蔵取扱届	15	17	5	37
その他届出	54	61	20	135
り災証明願	5	5	1	11
その他証明願	21		4	25
建築許可等同意	8	33	5	46
計	391	383	171	945

危険物製造所等別貯蔵・取扱数量

(令和元年12月末現在)

区分 <small>危険物製造所等の区分</small>	設置数	貯蔵・取扱数量				
		第4類				
		第1石油類	第2石油類	第3石油類	第4石油類	計
屋内貯蔵所	5	3,000 ℓ	7,100 ℓ	250,000 ℓ	200 ℓ	260,300 ℓ
屋外貯蔵所	1		50,000 ℓ			50,000 ℓ
屋内タンク貯蔵所	2			17,000 ℓ		17,000 ℓ
屋外タンク貯蔵所	21		1,677,000 ℓ	94,900 ℓ		1,771,900 ℓ
地下タンク貯蔵所	66		1,170,860 ℓ	531,000 ℓ		1,701,860 ℓ
移動タンク貯蔵所	43		160,850 ℓ			160,850 ℓ
給油取扱所	14	339,400 ℓ	413,000 ℓ	35,650 ℓ		788,050 ℓ
船舶給油取扱所						0 ℓ
自家用給油取扱所	14	6,197 ℓ	211,697 ℓ	10,000 ℓ		227,894 ℓ
一般取扱所	11		266,400 ℓ	48,200 ℓ		314,600 ℓ
計	177	348,597 ℓ	3,956,907 ℓ	986,750 ℓ	200 ℓ	5,292,454 ℓ

地区別危険物製造所等設置状況

(令和元年12月末現在)

区分 <small>危険物製造所等の区分</small>	設置数	地区別																	
		弟子屈市街	南弟子屈	屈斜路	美留和	川湯市街	川湯温泉駅前	標茶市街	磯分内	塘路	虹別	久著呂	中茶安別	阿歴内	多和	鶴居市街	幌呂地区	久著呂	温根内
屋内貯蔵所	5	3									1			1					
屋外貯蔵所	1						1												
屋内タンク貯蔵所	2					2													
屋外タンク貯蔵所	21	4			1		2	1									11	1	1
地下タンク貯蔵所	66	15		2	2	14		16			2					12	3		
移動タンク貯蔵所	43	16	2		1	2		15	3			1			1	1	1	1	
給油取扱所	14	4	1			2		3			1	1			1	1			
船舶給油取扱所	0																		
自家用給油取扱所	14	6	1					3	1								2		1
一般取扱所	11	3				1		5								1	1		
計	177	51	4	2	4	21	0	45	5	0	4	0	2	0	1	15	19	2	2

火災予防のための広報活動 及び応急手当の普及啓発活動

消防機関において、予防消防が強く叫ばれている今日、防火思想の普及促進は、広報活動が最も効果的であるといえます。

当消防事務組合では、年間を通じ各種の広報活動を推進し、特に春・秋の火災予防運動には防災講話、防火立看板の設置、消火器取扱訓練、防火DVDの貸出し等を行い、防火思想の高揚を図っています。また、救命講習やイベントでの展示などを通して住民に対する応急手当の普及啓発に努めています。

予 防 広 報 活 動 状 況

区 分	対 象	備 考
広報車による宣伝	一般町村民	広報車による火災予防巡回宣伝を実施 春・秋（火災予防運動）・冬（歳末警戒）に 広報巡回
広報活動による宣伝	一般町村民	緊急伝達システムによる広報
防火資料配布	一般町村民	消防広報サイレン、住宅用火災警報器チラシ 配布、農協広報紙、防火チラシ配布、町広報 紙掲載、防火小冊子、消防ニュース
防火祭・催し物参加	一般町村民	行事を通し町民に防火思想の普及を図る （放水体験・車両展示等）
庁舎見学	保育所・幼稚園 小学校・中学校・高等学校	幼児から学生まで防火思想の高揚 消防業務体験受入（中学校・高等学校）
防火看板・ のぼり旗等	各地域	住宅用火災警報器設置促進、春と秋（火災予 防運動期間中）、防火標語
避難訓練指導	各事業所・学校等	消防用設備等取扱い
防火教室等	町内会等 （学校・各種事業所）	消火器取扱い、住宅用火災警報器設置促進、 防火映写会

普通・上級救命講習修了証交付状況

種別	町村別	年 別		平成30年末現在			令和元年中			総 計		
		性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
普通救命講習 （3時間）	弟子屈町		2,180	1,506	3,686	54	78	132	2,234	1,584	3,818	
	標茶町		4,326	3,791	8,117	226	174	400	4,552	3,965	8,517	
	鶴居村		578	187	765	11	7	18	589	194	783	
	計		7,084	5,484	12,568	291	259	550	7,375	5,743	13,118	
上級救命講習 （8時間）	弟子屈町		184	37	221	21	0	21	205	37	242	
	標茶町		187	45	232	2	0	2	189	45	234	
	鶴居村		57	31	88	13	2	15	70	33	103	
	計		428	113	541	36	2	38	464	115	579	

消 防 庁 舎 の 現 況

(令和元年12月末現在)

町村別	名 称	所在地	構 造	延べ面積 (㎡)	建築年月
弟子屈町	消防本部・弟子屈消防署 弟子屈消防団 団本部、女性消防部 第1・2分団	弟子屈町美里 3丁目8番1号	鉄筋 コンクリート 2階建	2,069	平成29年 7月
	弟子屈消防団第1分団 屈斜路消防部	弟子屈町字屈斜路 221番3	木造モルタル 平屋建	35	平成元年 12月
	弟子屈消防団第2分団 美留和消防部	弟子屈町字美留和	木造モルタル 平屋建	65	昭和54年 10月
	弟子屈消防署川湯支署 川湯消防団 団本部、女性消防部 第1・第2分団	弟子屈町川湯温泉 3丁目2番10号	鉄筋 コンクリート 2階建	1,004	平成2年 12月
	川湯消防団第1分団 川湯駅前消防部	弟子屈町川湯駅前 2丁目4番7号	木造モルタル 平屋建	65	昭和53年 10月
標茶町	標茶消防署・標茶消防団 団本部、女性消防部 第1・2分団	標茶町旭4丁目 6番2号	鉄筋 コンクリート 2階建	1,248	昭和61年 6月
	標茶消防署磯分内分遣所 標茶消防団第3分団	標茶町字熊牛原野 15線西1番地	木造モルタル 平屋建	240	昭和45年 10月
	標茶消防団第4分団(塘路)	標茶町字塘路 147番地2	鉄筋 コンクリート 平屋建	96	平成2年 3月
	標茶消防団第5分団(虹別)	標茶町字虹別原野 67線105の1	鉄筋 コンクリート 平屋建	197	昭和48年 11月
	標茶消防団第1分団 茶安別消防部	標茶町字中茶安別	木造モルタル 平屋建	65	昭和52年 6月
	標茶消防団第2分団 久著呂消防部	標茶町字中久著呂	木造モルタル 平屋建	65	昭和51年 10月
	標茶消防団第4分団 阿歴内消防部	標茶町字阿歴内	木造モルタル 平屋建	65	昭和53年 9月
鶴居村	鶴居消防署・鶴居消防団 団本部、女性消防部 第1分団	鶴居村鶴居西 3丁目24番地	鉄筋 コンクリート 平屋建	781	平成20年 12月
	鶴居消防団第2分団(中幌呂)	鶴居村幌呂西 3丁目13番地	木造一部鉄骨造 平屋建	189	平成5年 11月
	鶴居消防団第3分団(上幌呂)	鶴居村字幌呂原野 第1基線47番地4	木造一部鉄骨造 平屋建	160	平成7年 12月
	鶴居消防団第4分団(下久著呂)	鶴居村字久著呂 原野168番地	木造サイディング 平屋建	80	平成4年 10月
	鶴居消防団第1分団 下幌呂消防部	鶴居村字幌呂原野 南4線37-1	木造 平屋建	124	平成27年 11月

消 防 機 械 現 有 数

(令和元年12月末現在)

凡例	名 称	車 種	年代	購入年月日	年数	HP	ポンプ型式		配置場所
							型 式	級	
指	指揮車	トヨタアリオ	18	H18.5.10	13	132			消防本部
指	指揮車	トヨタランドクルーザー	9	H9.8.7	22	190			弟子屈消防署
指	指揮車	ニッサンエクストレイル	1	R1.12.3	0	135			弟子屈消防署
指	指揮車	トヨタハイエース	7	H7.6.14	24	91			弟子屈消防団
中	救急車	トヨタハイメディック	19	H19.2.8	12	151			弟子屈消防署
中	救急車	トヨタハイメディック	29	H29.11.22	2	151			弟子屈消防署
先	先攻車	日野(6,000ℓ)	8	H8.3.18	23	390	J-1	A2	弟子屈消防署
先	2号車	日野(3,000ℓ)	62	S62.11.24	32	230	ME-5	A2	弟子屈消防団
ポン	ポンプ1	ミツピシ(普通)	14	H14.2.27	17	140	V3000	A1	弟子屈消防団
水	水槽車	日野(10,000ℓ)	24	H24.12.3	7	380			弟子屈消防署
屈	屈斜路1号	いすゞフォワード(2,000ℓ)	3	H3.4.12	28	195	V3000	A1	屈斜路消防部
美	美留和1号	ミツピシ(1,000ℓ)	13	H13.11.20	18	140			美留和消防部
小	小型動力ポンプ	シバウラ(美留和1号)	5	H5.12.13	26	60	SF-760E	B2	美留和消防部
ト	トーハツ(ポンプ車)	トーハツ(ポンプ車)	21	H21.5.21	10		VF631	B2	弟子屈消防団
ト	トーハツ(水槽車)	トーハツ(水槽車)	24	H24.12.3	7		VF631	B2	弟子屈消防署
シ	シバウラ(美留和1号)	シバウラ(美留和1号)	13	H13.11.20	18	52	SF-756M	B2	美留和消防部
シ	シバウラ(予備)	シバウラ(予備)	58	S58.7.22	36	55	B-709	B2	弟子屈消防署
ト	トーハツ(予備)	トーハツ(予備)	30	H30.11.15	1	30	V7201	B2	弟子屈消防署
ス	軽四貨物車	スバール	15	H15.3.12	16	48			弟子屈消防署
輸	輸送車	日野リエッセII	1	R1.10.21	0	135			弟子屈消防団
船	船外機付ゴムボート	インフレーターボート	1	R1.7.16	0	75			弟子屈消防署
指	指揮車	トヨタクラウン	10	H10.9.7	21	200			川湯支署
支	支援車	ニッサンセレナ	31	H31.2.27	0	135			川湯消防団
中	救急車	トヨタハイメディック	15	H15.10.30	16	180			川湯支署
先	先攻車	日野(3,000ℓ)	12	H12.12.27	19	300	ME-5	A2	川湯支署
先	2号車	日野(普通)	27	H27.9.16	4	140	MD260A	A2	川湯消防団
水	水槽車	日野(10,000ℓ)	7	H7.12.22	24	355			川湯支署
屈	屈折梯子車	日野(普通)	22	H22.12.24	9	320	ME-5	A2	川湯支署
軽	軽四貨物車	ダイハツハイゼット	20	H20.5.16	11	50			川湯支署
小	小型動力ポンプ	シバウラ(予備)	14	H14.7.25	17	56	SF-756MG	B2	川湯支署
ト	トーハツ(予備)	トーハツ(予備)	24	H24.12.5	7	30	VF-63AS	B2	川湯支署
ト	トーハツ(2号車)	トーハツ(2号車)	27	H27.9.16	4	30	V7201	B2	川湯支署
シ	シバウラ(水槽車)	シバウラ(水槽車)	7	H7.12.22	24	56	SF-760F	B2	川湯支署
指	指令1	トヨタハイエース	30	H30.12.13	1	150			標茶消防署
指	指令2	トヨタランドクルーザープラド	29	H29.3.1	2	163			標茶消防署
連	連絡車	トヨタカローラアクシオ	27	H27.7.6	4	103			標茶消防署
中	救急1	トヨタハイメディック	19	H19.12.20	12	151			標茶消防署
中	救急2	トヨタハイエース	27	H27.3.13	4	151			標茶消防署
先	先攻1	日野(5,000ℓ)	31	H31.3.28	0	370	M21	A2	標茶消防署
先	先攻2	ニッサン(6,000ℓ)	17	H17.2.9	14	400	J2	A1	標茶消防署
ポン	ポンプ2号車	日野(普通)	10	H10.1.10	21	215	J2	A1	標茶消防署
救	救助工作車	ミツピシふそう	6	H6.2.7	25	295			標茶消防署
水	水槽車	ニッサン(9,800ℓ)	22	H22.2.1	9	355			標茶消防署
第	第3分団車	ニッサン(5,000ℓ)	14	H14.2.20	17	430			第3分団(磯分内)
第	第4分団車	日野(1,500ℓ)	5	H5.3.2	26	195	ME-5	A2	第4分団(塘路)
第	第5分団車	ミツピシ(5,000ℓ)	6	H6.2.4	25	375			第5分団(虹別)
久	久著呂車	ミツピシキャンター(小型)	5	H5.3.2	26	120			久著呂消防部
茶	茶安別車	ミツピシキャンター(小型)	7	H7.3.14	24	140			茶安別消防部
阿	阿歴内車	ミツピシキャンター(小型)	8	H8.2.23	23	140			阿歴内消防部
林	林野火災工作車	ベンツウニモグ	50	S50.10.15	44	80			標茶消防署

(令和元年12月末現在)

凡例	名 称	車 種	年代	購入年月日	年数	HP	ポンプ型式		配置場所
							型 式	級	
回	小型動力ポンプ	トーハツ(予備)	23	H23.11.29	8	62	VC7201	B2	阿歴内消防部
回	〃	シバウラ(予備)	55	S55.9.10	39	40	B-709	B2	久著呂消防部
回	〃	トーハツ(9.8t水槽車)	22	H22.2.1	9	30	VF63AS	B2	標茶消防署
回	〃	シバウラ(予備)	60	S60.7.15	34	40	B-709	B2	茶安別消防部
回	〃	シバウラ(久著呂車)	5	H5.3.2	26	55	B-715	B2	久著呂消防部
回	〃	シバウラ(第5分団車)	6	H6.2.4	25	55	B-715	B2	第5分団(缸別)
回	〃	シバウラ(茶安別車)	7	H7.3.14	24	55	B-715	B2	茶安別消防部
回	〃	トーハツ(ポンプ2号車)	17	H17.2.9	14	62	V7201	B2	標茶消防署
回	〃	シバウラ(予備)	7	H7.9.13	24	55	B-715	B2	標茶消防署
回	〃	シバウラ(阿歴内車)	8	H8.2.23	23	55	B-715	B2	阿歴内消防部
回	〃	シバウラ(第3分団車)	14	H14.2.20	17	56	B-716	B2	第3分団(歳分内)
輸送車	輸送車	三菱シローザ	6	H6.2.23	25	120			標茶消防署
資器材搬送車	資器材搬送車	日野(普通)	17	H17.12.6	14	220			防災ステーション
船外機付ゴムボート	船外機付ゴムボート	タワーボート	17	H17.12.6	14	9.9	3v5		標茶消防署
指 令 車	指令車	トヨタアルファード	16	H16.12.21	15	220			鶴居消防署
広 報 車	広報車	スバルフォレスタ	23	H23.12.15	8	148			鶴居消防署
救 急 車	救急車	トヨタハイメディック	19	H19.2.14	12	151			鶴居消防署
救 急 車	救急車	トヨタハイメディック	29	H29.10.12	2	151			鶴居消防署
機 材 車	機材車	スバルサンバー	17	H17.12.15	14	48			鶴居消防署
水 槽 車	水槽車	日野(10,000ℓ)	31	H31.1.7	0	374			鶴居消防署
先 攻 車	先攻車	日産ディーゼル(3,000ℓ)	8	H8.12.20	23	295	R3	A2	鶴居消防署
タ ン ク 1	タンク1	ミツビシふそう(2,000ℓ)	13	H13.1.26	18	200	V3000	A1	第1分団
積 載 1	積載1	いすゞ	26	H26.12.25	5	110			第1分団
タ ン ク 2	タンク2	日野(3,500ℓ)	19	H19.12.21	12	330	R3	A2	第2分団
積 載 2	積載2	いすゞ	1	H1.12.18	30	110			第2分団
タ ン ク 3	タンク3	日野(2,000ℓ)	3	H3.2.6	28	195	R3	A2	第3分団
積 載 4	積載4	ミツビシふそう(1,000ℓ)	10	H10.1.28	21	140			第4分団
ポ ン プ 1	ポンプ1	日野(600ℓ)	27	H27.11.22	4	150	MZ1	A2	下幌呂消防部
回	小型動力ポンプ	トーハツ(水槽車)	31	H31.1.7	0	30	VF53AS	B2	鶴居消防署
回	〃	シバウラ(予備)	6	H6.11.14	25	54	B-716	B2	鶴居消防署
回	〃	シバウラ(予備)	6	H6.11.14	25	54	B-716	B2	鶴居消防署
回	〃	シバウラ(予備)	14	H14.1.11	17	56	B-716	B2	鶴居消防署
回	〃	トーハツ(タンク1)	22	H22.11.25	9	30	VF63AS	B2	第1分団
回	〃	トーハツ(積載1)	26	H26.12.25	5	30	VF63AS	B2	第1分団
回	〃	トーハツ(ポンプ1)	22	H22.11.25	9	30	VF63AS	B2	下幌呂消防部
回	〃	シバウラ(タンク2)	19	H19.12.21	12	62	B-716	B2	第2分団
回	〃	ラビット(積載2)	61	S61.10.17	33	52	P-508	B2	第2分団
回	〃	ラビット(積載2)	63	S63.10.25	31	52	P-508RS	B2	第2分団
回	〃	ラビット(タンク3)	27	H27.8.1	4	34	EP572DAN	B2	第3分団
回	〃	トーハツ(積載4)	27	H27.11.10	4	30	VC72PROII	B2	第4分団
回	〃	ラビット(積載4)	63	S63.10.25	31	52	P-508RS	B2	第4分団
計	車 名	弟子屈	川 湯	標 茶	鶴 居	計	備 考		
	指 揮 車	4	1	2	2	9	本部1台(弟子屈)		
	救 急 自 動 車	2	1	2	2	7			
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	1	1	1	4			
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	3	1	3	4	11			
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	1	1	3	1	6			
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	1		3	3	7			
	屈 折 梯 子 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		1			1			
	救 助 工 作 車			1		1			
	林 野 火 災 工 作 車			1		1			
支 援 車		1			1				
資 器 材 運 搬 車	1		1	1	3				
連 絡 車			1		1				
マ イ ク ロ バ ス (団 員 輸 送 車)	1		1		2				
船 外 機 付 ゴ ム ボ ー ト	1		1		2				

消 防 水 利 保 有 数

(令和元年12月末現在)

水利別		消防署・支署別		計		
		弟子屈	川 湯		標 茶	鶴 居
消 火 栓	公 設	99	23	98	17	237
	私 設	2		6		8
防 火 貯 水 槽	公 設	36	15	54	40	145
	私 設	1		1		2
自 然 水 利	公 設					0
	私 設					0
計		138	38	159	57	392

消 防 用 水 一 又 現 有 数

(令和元年12月末現在)

級別	消防署・支署別		川 湯		標 茶		鶴 居		計	
	50mm	65mm	50mm	65mm	50mm	65mm	50mm	65mm	50mm	65mm
1級 (無傷・20m以上・経過年数5年未満)	4	32	9	20	20	40	60	70	93	162
2級 (15m以上又は経過年数5年以上10年未満)	14	46	5	30		11	47	119	66	206
3級 (15m未満又は経過年数9年以上)	105	105	62	133	152	401	44	16	363	655
4級 (10m未満)								10	0	10
計	123	183	76	183	172	452	151	215	522	1033

消防用機器及び資材保有状況

(令和元年12月末現在)

業務別	消防署・支署別		弟子屈	川 湯	標 茶	鶴 居	計
	品 名						
消 火 活 動 用	ホ ー ス		306本	259本	624本	366本	1555本
	エアフォームノズル		6	1	3		10
	ラインプロポーションナー		1	1	3	3	8
	泡 原 液		3650	1600	3200		8450
	発 電 機		9	5	8	12	34
	投 光 器		13	7	14	17	51
	三 連 梯 子		2	1	1	2	6
	可燃性ガス検知器		2	1	1	2	6
	東 消 式 発 泡 器		1		1		2
	噴霧消火装置(フォグテック)				1		1
救 助 活 動 用	空 気 呼 吸 器		11	9	16	9	45
	空気呼吸器用ボンベ		44	29	50	19	142
	高压ガス(空気)充てん器		1		1	1	3
	油 圧 式 救 助 器 具		1	2	1	3	7
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー		1	2	3	4	10
	チ ェ ー ン ソ ー		1	4	2	7	14
	空 気 式 救 助 マ ッ ト		2	1	1	3	7
	ハ ン ド ス ピ ー カ ー			5	2	3	10
	エ ア ー ソ ー				1		1
	エ ア ー ・ ツ ー ル				1		1
	耐 熱 服		2		2		4
	潜 水 器 具		7				7
	救 命 胴 衣		31	20	26	11	88
	救 命 浮 環		2		5	2	9
救 命 ボ ー ト				1	1	2	
救 急 活 動 用	血 圧 計		4	4	5	10	23
	聴 診 器		5	2	2	9	18
	血中酸素飽和度測定器		3	2	4	6	15
	心 電 計		車載2・携帯	車載1・携帯1	車載2・携帯2	車載2・携帯2	車載7・携帯5
	経鼻エアウェイ		2	2	2	2	8
	喉 頭 鏡		4	2	4	4	14
	マギール鉗子		2	2	4	3	11
	ショック・パンツ		1	2	2		5
	自動式心臓マッサージ器				1	2	3
	自動体外式除細動器		3	2	2	4	11
	輸液・薬剤セット一式		2	1	2	2	7
	ラリングアルマスク・ツウエイチューブ等		2	1	2	2	7
	自 動 車 電 話					2	2
	在宅療法継続用資器材						0
車 両 整 備 用	アセチレンガス溶接切断機		1		1		2
	交流アーク溶接機		1	1	1		3
	コンプレッサー		2	1	1	2	6
	バッテリー充電器		1	1	4	5	11
	ガレージジャッキ		2	2	3	7	14

火 災 概 況

火 災 件 数	10件（前年15件）
焼 損 面 積 等	建物44㎡(床面積) 3㎡(表面積) 車両5台 林野10a 〔前年〕 1,890㎡(床面積) 86㎡(表面積) 車両6台 林野282a
損 害 額	3,156千円（前年31,784千円）
死 者	1名（前年0名）
負 傷 者	0名（前年2名）

令和元年中の火災発生件数は10件で、前年より5件の減である。

これは、約37日間に1件の割合で火災が発生したことになります。

なお、損害額は3,156千円（町村民1人当たり約184円）で前年に比べて28,628千円の減となっています。

火 災 件 数

区 分	火 災 種 別				計
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	
		うち農家			
火 災 件 数	4件	1件	1件	5件	10件
焼 損 面 積 等	(床) 44㎡ (表) 3㎡	※内容物の一部焼損のみ	10a	5台	(床) 44㎡ (表) 3㎡ 5台 10a
損 害 額	987 千円	64 千円		2,169 千円	3,156 千円
死 者	1名				1名
負 傷 者					0名

令和元年中火災発生状況

火災 番号	出火月日	出火 時分	出火場所	用途	出火原因	死 者	負 傷 者	り災		焼損程度	焼 損 面積等	損害額 (千円)
								世 帯	人 員			
1	1月1日	10:40	弟子屈町湯の島1丁目6番4号	飲食店	中華鍋内油の温度が高温になり発火、ガスコンロ上方の換気扇へ延焼拡大したものの。			1	2	部分焼	2㎡(表)	12
2	3月28日	11:20	標茶町788番地5(多和)	車両	原因不明。						1台	682
3	4月14日	10:00	鶴居村字幌呂57番9	林野	集めた枯葉に火をつけ焼却処分を行っていたところ、火が周囲の草地に延焼し、更に林野へ拡大したものの。						10a	0
4	4月27日	19:30	標茶町字栄177番地6	住宅	原因不明。 ※建物内容物である布団及びベッドの一部焼損のみ。			1	2	ぼや	0	64
5	4月30日	11:20	標茶町字虹別原野408-5	車両	証拠不十分及び出火箇所の特定に至らなかった為、原因不明。						1台	1,170
6	5月5日	4:00	弟子屈町中央3丁目12-10	住宅	引込配線ケーブルが、絶縁被覆の経年劣化及びステップルによる絶縁不良が原因となり短絡し、貫通部のモルタルラスへ漏電、接触していた木ずり等から出火したものの。	1		1	1	全焼	44㎡(床)	788
7	6月20日	10:55	弟子屈原野42線東(仁多)	車両	原因不明。						1台	150
8	6月27日	11:50	標茶町字中チャンベツ原野123番地23	車両	ハーベスターのピックを駆動させるシャフトのベアリングが損傷した事による摩擦熱が原因で出火したものの。						1台	122
9	8月2日	15:50	鶴居村字幌呂原野北10線56番地13	車両	過度な金属の摩擦により過熱し車体左側後下部周辺の牧草に着火若しくは車内ローラーに伝わり、接していた牧草から燃え広がったものの。						1台	45
10	8月22日	21:00	鶴居村字雪裡原野北20線西69	食料雑貨店	延長コードの被覆部の経年劣化による絶縁破壊で過電流により短絡もしくはスパークによる火花が発生し机に着火、付近の可燃物へ延焼したものの。			1	1	ぼや	1㎡(表)	123
計						1	0	4	6	全 焼 1 半 焼 部分焼 1 ぼ や 2	44㎡(床) 3㎡(表) 5台(車両) 10a	3,156

消防署別火災発生状況

(令和元年中)

1. 建物火災

消防署名	区分	焼損面積	損害額	出動署員 及び団員数	死者	負傷者	火災発生 件数
弟子屈		44㎡ (床) 2㎡ (表)	800 千円	29名	1名		2件
標茶			64 千円	4名			1件
鶴居		1㎡ (表)	123 千円	26名			1件
計		44㎡ (床) 3㎡ (表)	987 千円	59名	1名	0名	4件

2. 車両火災

消防署名	区分	焼損台数	損害額	出動署員 及び団員数	死者	負傷者	火災発生 件数
弟子屈		1台	150 千円	11名			1件
標茶		3台	1,974 千円	19名			3件
鶴居		1台	45 千円	6名			1件
計		5台	2,169 千円	36名	0名	0名	5件

3. その他の火災

消防署名	区分	焼損面積	損害額	出動署員 及び団員数	死者	負傷者	火災発生 件数
弟子屈							
標茶							
鶴居		10a		56名			1件
計		10 a	0 千円	56名	0名	0名	1件

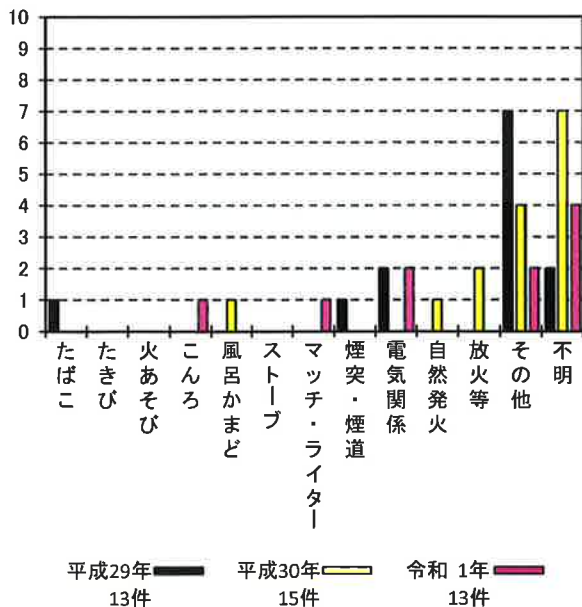
過去10ヶ年月別火災発生件数

年別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成 22 年		2	1	2	1	3				1	2		1	13
平成 23 年		1	1		1	2	1						1	7
平成 24 年			1	1	3	1	1							7
平成 25 年		3		3			2	2	4	1	2		1	18
平成 26 年		2	1	1	1	2	2	2	1	2	1	1	1	17
平成 27 年					1		1	3	1			1		7
平成 28 年			2	1	3	2					1	1	2	12
平成 29 年		4	2		1	2		1	2				1	13
平成 30 年				2	4	1	1	1	1	2	2	1		15
令和 元年		1		1	3	1	2		2					10

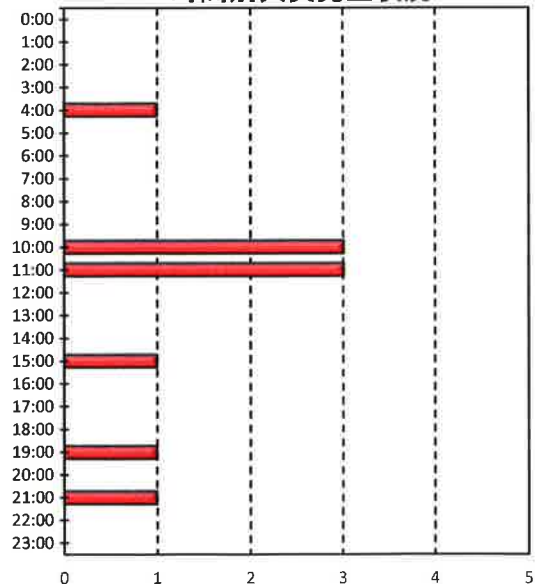
令和元年月別火災統計

区分 月別	件数 (件)				焼損棟数 (棟)			り災世帯数 (世帯)			り災者数 (名)			死傷者数 (名)		焼損面積等	損害額 (千円)					
	建物	車両	林野	その他	部分	半	全	小	半	全	小	半	全	死	負傷		建物	建物収容物	車両	林野	その他	計
1月	1			1	1		1	1		1	2		2			2m ² (表)	12					12
2月																						
3月		1		1												1台			682			682
4月	1	1	1	3	1		1	1		1	2		2			1台 10a ※建物内容物のみ	64		1,170			1,234
5月	1			1			1 1			1 1			1 1			44m ² (床)	656	132				788
6月		2		2												2台			272			272
7月																						
8月	1	1		2	1		1	1		1	1		1			1m ² (表) 1台	96	27	45			168
9月																						
10月																						
11月																						
12月																						
計	4	5	1	10	2	1	1 4	3		1 4	5		1 6	1		44m ² (床) 3m ² (表) 5台 (車両) 10a (林野)	764	223	2,169			3,156

過去3カ年火災原因別発生件数



時間別火災発生状況



救 急 概 況

令和元年中における救急業務実施状況は、救急出場件数974件で前年に比較すると53件の減少となり、搬送人員932人で前年より54人減少となっている。

このことは、1日当たり約2.7件の救急事故が発生し救急隊が出動しており、町村民約18人に1人が救急隊によって搬送されている。

又、搬送人員を事故種別でみると、急病がトップで477人、つづいて転院搬送が257人、一般負傷が93人と、この3種別が上位を占めている。

救 急 業 務 統 計

(平成22年～令和元年) 10箇年

区 分		計	救 急 事 故 種 別											
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
平成 22 年	出 場 件 数	997	1		2	61	13	2	115	1	20	539	237	6
	不 搬 送 件 数	66			2	8		1	5	1	12	30	1	6
	搬 送 人 員	941	2		2	58	13	2	110	1	11	505	237	
平成 23 年	出 場 件 数	970			1	73	15	1	115	3	6	509	244	3
	不 搬 送 件 数	40			1	8	1		5	1	3	20		1
	搬 送 人 員	942				75	14	1	112	2	3	489	244	2
平成 24 年	出 場 件 数	993	2		1	102	7	1	120	2	9	530	213	6
	不 搬 送 件 数	66	1		1	10			7	1	5	35	2	4
	搬 送 人 員	946	1			111	7	1	113	1	4	495	211	2
平成 25 年	出 場 件 数	981	1		1	60	18		129		8	501	258	5
	不 搬 送 件 数	45	1		1	10			6		3	19		5
	搬 送 人 員	948				62	18		123		5	482	258	
平成 26 年	出 場 件 数	1087	1		1	67	14	3	145	3	11	558	276	8
	不 搬 送 件 数	62			1	17			7		2	26	1	8
	搬 送 人 員	1038	1			60	14	3	140	3	9	533	275	
平成 27 年	出 場 件 数	1023	1		1	90	18	2	134	1	6	497	263	10
	不 搬 送 件 数	66	1		1	14	2		8	1	3	27	1	8
	搬 送 人 員	970				90	16		126		3	471	262	2
平成 28 年	出 場 件 数	993	1		2	101	17	1	121		4	501	241	4
	不 搬 送 件 数	61			1	22			6		1	26	2	3
	搬 送 人 員	951	1		1	97	17	1	115		3	476	239	1
平成 29 年	出 場 件 数	992				61	21	3	140	1	12	502	247	5
	不 搬 送 件 数	50				9		1	6	1	4	24	1	4
	搬 送 人 員	951				59	21	2	135		8	479	246	1
平成 30 年	出 場 件 数	1027	1		3	69	14	2	128	2	8	506	289	5
	不 搬 送 件 数	54			1	13			4		3	29	1	3
	搬 送 人 員	986	1		2	64	14	2	127	2	5	477	290	2
令 和 元 年	出 場 件 数	974	1		2	84	9		101	1	10	502	259	5
	不 搬 送 件 数	60				13			8		7	26	2	4
	搬 送 人 員	932	1		3	87	9		93	1	3	477	257	1

